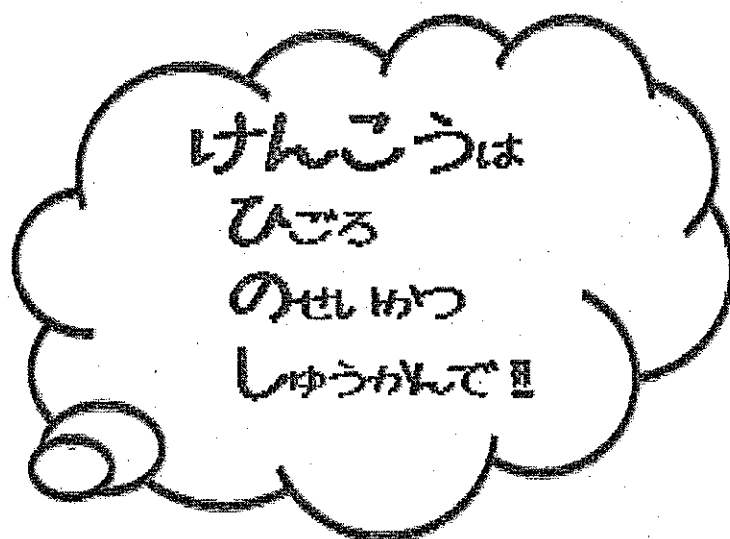


ひのびと
第2期「日野人げんき！」プラン

平成 23 年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

目 次

施策の体系図.....	1
計画の進行管理について.....	3
評価の体系図.....	4
重点施策一覧（重点に選んだ理由）	7
重点施策の評価一覧表	8
重点施策1 妊娠・出産に対する支援を充実します	9
重点施策2 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	10
重点施策3 歯科保健を充実します	11
重点施策4 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	12
重点施策5 運動などによる健康づくりを進めます	13
重点施策6 心の健康づくりを進めます	14
重点施策7 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	15
重点施策8 歯科保健対策を推進します	16
重点施策9 健康診査とフォローアップを充実します	17
重点以外の施策の評価一覧表	21

重点目標 子育て・子育て不安ゼロ

1－（2）夫婦の協力による子育ての意識づくりを進めます	23
2－（2）食生活を充実します	24
2－（4）子どもの豊かな遊びの環境づくりを進めます	25

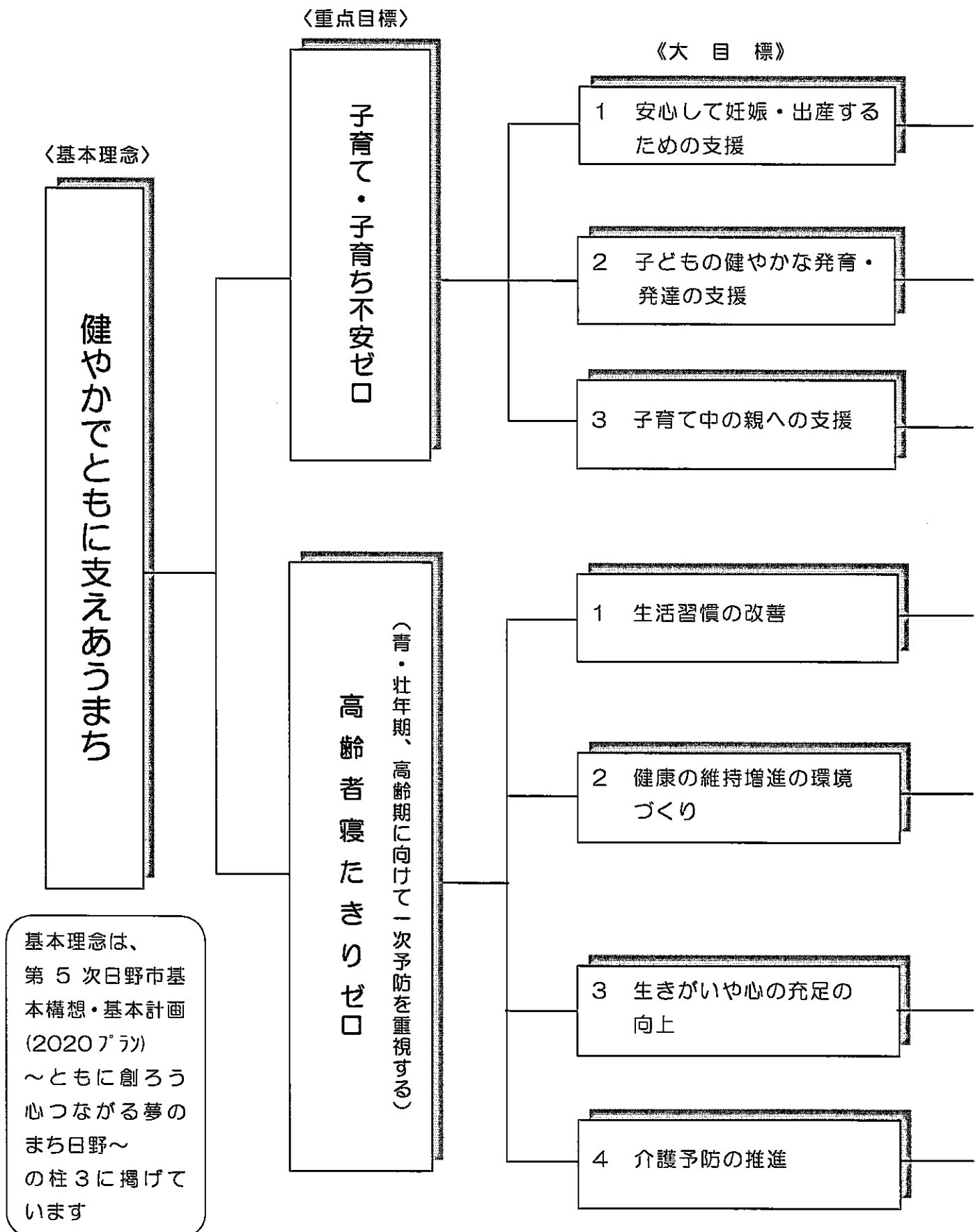
2－（５）充実した医療環境を整備します	26
2－（６）学童・思春期における保健教育を充実します	27
3－（１）子育てに関する相談体制を充実します	28
3－（２）子育てが楽しめる環境づくりを進めます	29
3－（４）地域における子育て支援を充実します	30

重点目標 高齢者寝たきりゼロ

1－（１）より良い食生活のための支援をします	31
2－（１）女性の健康づくりを進めます	32
2－（３）かかりつけ医を普及します	33
2－（４）健康づくりを啓発します	34
2－（５）健康づくり推進員の養成と活動を推進します	35
2－（６）地域医療体制を充実します	36
2－（７）健康を支える都市環境を整備します	37
3－（１）地域活動グループを支援します	39
3－（２）生涯学習を推進します	40
3－（３）社会活動への参加を促進します	41
4－（１）生活支援サービスを推進します	42
4－（２）介護予防を推進します	43

資料	44
----------	----

【日野人げんき！プラン 施策の体系図】



【中 目 標】

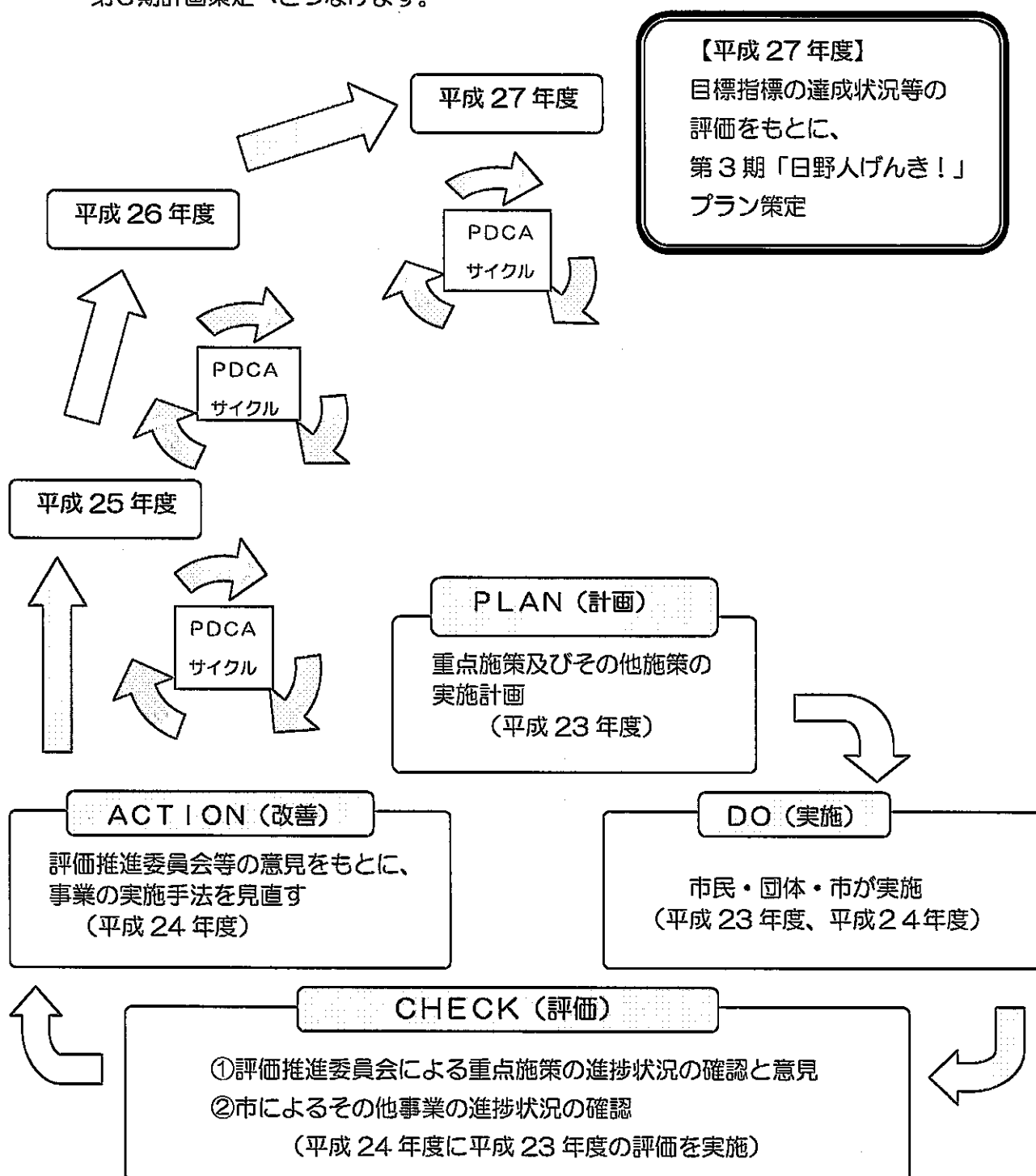
- | | | |
|----|--|---|
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 妊娠・出産に対する支援を充実します□ (2) 夫婦の協力による子育ての意識づくりを進めます | <重点施策1> |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します□ (2) 食環境を充実します□ (3) 歯科保健を充実します□ (4) 子どもの豊かな遊びの環境づくりを進めます□ (5) 充実した医療環境を整備します□ (6) 学童・思春期における保健教育を充実します | <重点施策2>
<重点施策3> |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 子育てに関する相談体制を充実します□ (2) 子育てが楽しめる環境づくりを進めます□ (3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます□ (4) 地域における子育て支援を充実します | <重点施策4> |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) より良い食生活のための支援をします□ (2) 運動などによる健康づくりを進めます□ (3) 心の健康づくりを進めます□ (4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます□ (5) 歯科保健対策を推進します | <重点施策5>
<重点施策6>
<重点施策7>
<重点施策8>Ⅱ |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 女性の健康づくりを進めます□ (2) 健康診査とフォローアップを充実します□ (3) かかりつけ医を普及します□ (4) 健康づくりを啓発します□ (5) 健康づくり推進員の養成と活動を推進します□ (6) 地域医療体制を充実します□ (7) 健康を支える都市環境を整備します | <重点施策9> |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 地域活動グループを支援します□ (2) 生涯学習を推進します□ (3) 社会活動への参加を促進します | |
| —— | <ul style="list-style-type: none">□ (1) 生活支援サービスを推進します□ (2) 介護予防を推進します | |

第2期「日野人げんき！」プランの進行管理（評価）について

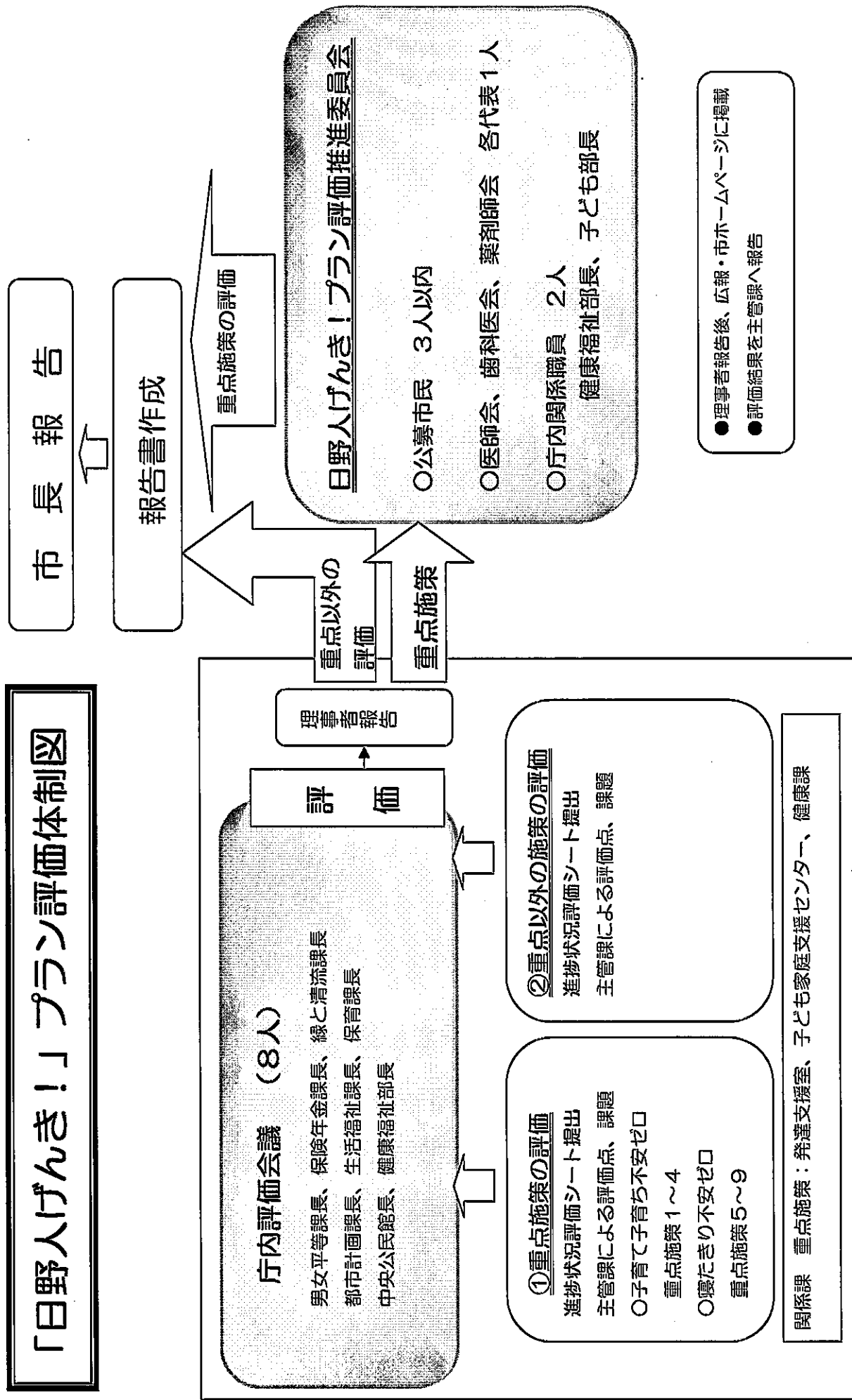
第2期「日野人げんき！」プランを確実に実施し、目標を達成していくために、毎年度、重点施策等に対する進行管理を行います。

第2期「日野人げんき！」プラン評価推進委員会（以下「評価推進委員会」という。）及び市により検証を行い、評価推進委員会等の意見や実施結果をもとに事業実施手法を見直します。

平成27年度には、目標指標の達成状況等の評価も行い、平成28年度からの第3期計画策定へとつなげます。

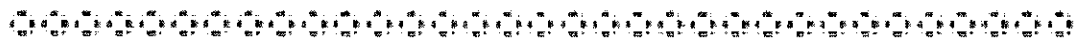


「日野人げんき！」プラン評価体制図





重点施策の評価



【 重点施策一覧 】

重点目標	大目標	中目標	重点に選んだ理由
子育て・子育て不安ゼロ	1 安心して 妊娠・出産する ための支援	(1) 妊娠・出産に対する支援を充実します	妊娠時からの相談や産後の育児支援は児童虐待予防からも取り組みを充実する必要がある。
	2 子どもの健やかな発育・発達の支援	(1) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	健診事業及び予防接種事業は早期発見・疾病予防のため今後充実する必要がある。
		(3) 歯科保健を充実します	生涯にわたる健康な歯科保健のため乳幼児期からの歯科事業を充実する必要がある。
	3 子育て中の親への支援	(3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	核家族化や情報の氾濫など社会情勢をふまえ、児童虐待予防の視点から充実する必要がある。
(青・壮年期、高齢期に向けて一次予防を重視する) 高齢者寝たきりゼロ	1 生活習慣の改善	(2) 運動などによる健康づくりを進めます	生活習慣病予防のための運動や高齢者向けの体力づくりを進めていく必要がある。
		(3) 心の健康づくりを進めます	自殺対策及びうつ病対策を充実する必要がある。
		(4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	禁煙・完全分煙の取り組みや未成年・妊婦への取り組みを充実する必要がある。
		(5) 歯科保健対策を推進します	8020運動、歯周病予防等、歯科保健は疾病予防の視点で充実する必要がある。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(2) 健康診査とフォローアップを充実します	医療制度の変更があり、健（検）診事業の充実に取り組む必要がある。

【日野人げんき！プラン 重点施策進捗状況評価結果一覧表】

中目標に対する評価点数 5…順調 4…おおむね順調 3…一部遅延 2…大幅遅延 1…未実施

重点目標	大目標	中目標	重点施策番号	主管課評価点数	庁内会議評価点数	評価推進委員会評価点数	評価推進委員会評価理由
子育て・子育て不安ゼロ	1 安心して妊娠・出産するための支援	(1) 妊娠・出産に対する支援を充実します	1	4	4	4	- 事業の実施は概ね順調とされるが、数値目標（指標）が把握されていない。 - 妊婦の教室の実施状況も順調である。 - パパの参加も周知がすすめば大きな結果が期待できる。
	2 子どもの健やかな発育・発達への支援	(2) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	2	4	4	4	- 数値目標の達成に向けて順調に数値が改善している。 - 未受診者の把握率、接種率が上がっている点、フォローアップが行われており、システムもできている点など評価したい。 （仮称）発達支援センター開設に向けての先行事業も順調に滑り出していることも評価した。開設には期待するところが大きいので順調な事業進行を望む。
		(3) 歯科保健を充実します	3	4	4	4	23年度から初めて取り組んだ事業で大いに評価できるが歯科保健の充実のために、さらに頑張ってもらいたい。 - 歯科医会との綿密な情報交換をしながら事業を進めてほしい。
	3 子育て中の親への支援	(3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	4	4	4	4	- 乳児家庭全戸訪問実施率、乳児家庭把握率とも上がっており、数値目標の達成に向けて順調に数値が改善している。 - 新しい層への開拓など、親支援も順調に進んでいる点を併せて評価した。 - 子ども家庭支援センター事業との連携を綿密にお願いしたい。
高齢者寝たきりゼロ	1 生活習慣病の改善	(2) 運動などによる健康づくりを進めます	5	4	4	4	- 各事業の開催回数、参加人数、内容については評価できる。 1回30分以上の汗をかく運動週2日以上、目標値51.5%なら、中間の数値がほしい。 - 開催場所がわからないが地区に格差があるようなら検討してほしい。 - 市民グループが今後増えそうなので健康体操サポーターはもう少し増員する必要がある。
		(3) 心の健康づくりを進めます	6	4	4	4	- 身近なゲートキーパーの養成数が目標の9割でおおむね順調であるが、ゲートキーパーの認知度を上げることが必要と思われる。 - 産後うつ病のみ調べてうつ病対策とはいえない。もっと開かれて「心の相談室」を充実させるべき。
		(4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	7	4	4	4	- 禁煙については、あらゆる場面で啓蒙されていることは評価できる。 小、中学校でたばこの害を学ぶことにより若年喫煙者を減らす活動（一部では学校薬剤師が実施中）を全校で実施することを目指す。 - 母子保健活動やがん検診ばかりでなく、親になる以前の女性（実践女子大学生等）たちに、喫煙の怖ろしさをPRするなどしたらどうか。
		(5) 歯科保健対策を推進します	8	3	3	3	- 指標が僅かに悪化したのは事業の充実（30歳検診の追加）のためと思われる。 10年に1度の検診のため、この機会を逃さないように市民への周知を徹底する必要があると思われる。 - 市内イベントなどでかかりつけ医をアピールするなどの活動を望む。 「かかりつけ歯科医」を持つことの意味と、どうしてそれが大事なのかについてアピールが必要。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(2) 健康診査とフォローアップを充実します	9	4	4	4	- 指標となる数値を見る限り、評価は低くならざるを得ない。 - 特定健診受診率が横ばい傾向であり、特定保健指導実施率は減少傾向である。特定保健指導実施率の向上が急務と思われる。 - がん検診で受診率が下がったものに関しては、募集期間を延ばす、あるいは、広報活動を充実させるなどの、何らかの努力が必要と考える。 - 日野市国保医療費分析に関しては、口腔の健康状態と医療費の関係を調査してみても良いと思う。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点施策】

重点目標		子育て・子育て不安ゼロ	重点施策		重点施策1		
大目標		1. 安心して妊娠・出産するための支援	担 当 課		健康課		
中目標		(1) 妊娠・出産に対する支援を充実します	健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度	
充 実 す る 施 策	事業名 P13	1. 妊娠届出時の妊婦相談	妊娠・出産に満足して いる人の割合		90%	95%	
	事業名 P13	2. 妊婦の教室（ママ・パパクラス）					
	事業名 P13	3. 感染症対策	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名 P13	4. 産院等の連携	数値なし				

事業 番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
1	健康課窓口での妊娠届出時には、相談当番保健師が面接し、保健指導や出産や育児等につわる不安に対しておこたえしている。健康課窓口以外で妊娠届出を提出した妊婦さんに対しても、後日地区担当保健師より連絡を入れ支援を行っている。また、窓口での相談だけでなく希望に応じて家庭訪問等も行っており、妊娠期から産後も含めた継続した支援にも力を入れている。23年度は相談支援件数は214件行った（22年度138件）。
2	ママパパクラス基礎コースの中でグループワークを実施し、子育て情報の交換をしながら、子育て施設のマップ作成を行っている。グループワークを仲間作りを支援する場としている。ママパパクラス基礎・沐浴コースの中で、こどもの発達について伝え、関わり方を習得できるように支援している。ママパパクラス参加者にアンケートを実施してニーズ把握を行っている。基礎コース11回延べ妊婦560人夫256人、栄養・歯科・沐浴コース計45回延べ559人夫等201人の参加を得た。
3	『妊娠中に気をつけたい感染症』のチラシを母子手帳交付時に配布し、保健指導を行っている。妊娠中の感染症について健康課に相談できる体制をとっている。また、健康教育の機会を活用して、感染症予防の啓発もあわせて行っている。
4	市内産院等と、「育児支援連絡表」により要支援者の連絡を取れる体制を整えている。また市外の病院等とも、電話連絡や連絡表により、連絡を取っている。

中目標に対する評価

評価						5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度										
主 管 課	評価点数	評価理由								
	4	1.把握できた支援が必要な妊婦さんに対して相談支援は全件行えているが、需要の掘り起こし機会の周知がまだ不足している。 2.参加者が若干減少しており、増加させるための周知や勧誘を妊娠届出時等に集中的に行う必要がある。 3.保健師が相談できる体制をとっており、啓発も行っている。 4.市内産院との連携を密にし、要支援者への適切な支援を行えるようにしている。								
	27年度までの今後の課題（箇条書き）									
	1.健康課窓口での妊娠届出時には、保健師が妊娠・出産・育児等につわる相談を行っていることをさらに周知していく。また、健康課窓口以外で妊娠届出を提出した妊婦さんに対しての地区担当保健師の支援が早期からスムーズに実施できるよう工夫していく。 2.ママパパクラス参加者を増加させるための周知や勧誘を妊娠届出時等に集中的に行う必要がある。 3.健康教育の機会を活用して、性感染症の予防の啓発も行っていく。 4.引き続き産院との情報連携を緊密にかつ迅速に行っていく。									
庁内評価会議	評価点数	評価理由								
	4	妊娠期からの相談対象件数は214件であり、実施状況の数値から、妊娠・出産に対する支援がすすんでいることがわかる。健康指標の満足度がはかれないため、そのかわるものとして相談件数や実施状況から判断した。また、男性の育児参加・孤立化を防ぐ点、核家族化による出産・育児の不安が広がる中で、この事業の意義は大きいと感じる。各段階での支援ができるよう期待する。								
評価推進委員会	評価点数	評価理由								
	4	・事業の実施は概ね順調とされるが、数値目標（指標）が把握されていない。 ・妊婦の教室の実施状況も順調である。 ・パパの参加も周知がすすめば大きな結果が期待できる。								

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

1.健康課窓口での妊娠届出時には、保健師が妊娠・出産・育児等につわる相談を行っていることをさらに周知していく。 健康課窓口以外で妊娠届出を提出した妊婦さんに対しての地区担当保健師の支援が早期からスムーズに実施できるよう工夫していく。
2.ママパパクラスの周知活動の媒体等の工夫を行っていく。
3.健康教育の機会を活用して、性感染症の予防の啓発もあわせて行っていく。
4.引き続き産院との情報連携を緊密にかつ迅速に行っていく

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策	重点施策2
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	担 当 課	健康課・発達支援室
中目標	(1) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度 目標値 平成27年度
充 実 す る 施 策	事業名 P16 5. 健診未受診者へのフォロー	健診未受診者のフ ォ ロ ー 後 の 把 握 者 数	67% 100%
	事業名 P16 6. 乳幼児の発達支援		
	事業名 P16 7. 予防接種	23年度 24年度	25年度 26年度 27年度
	事業名	83%	

事業 名称	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
5	3・4か月児、1.6歳児、3歳児の各健診における平成23年度の乳幼児健診未受診者163人であった。そのうち、電話や訪問等で把握できた人数は135人、割合は、82.8%となった。未受診者には、保育課との連携により、状況把握に努めた。
6	相談支援事業：臨床心理士、臨床発達心理士、言語聴覚士による個別相談を実施【H23相談延人数 694人】 専門医による医療相談を実施【H23相談延人数 135人】 発達支援事業：各種トレーニング事業を実施 H23はペアレントトレーニング（保護者が参加）を実施【H23参加者実人数 5人】 地域支援事業：市民への啓発のために講演会を実施【2回開催 参加人数260人】 幼児グループ支援事業：親子で参加をする遊びのグループを各年齢ごとに実施【H23グループ参加実人数 99人】 保育園（公・民・認証）・学童クラブへの専門家による巡回支援を実施【H23巡回支援回数 264回】
7	・定期予防接種の接種時期が近づいた対象者には、接種忘れのないよう、個別に勧奨通知を送付している。 ・任意予防接種の助成として、新たに、平成23年4月から子宮頸がん予防ワクチンを、6月からヒブワクチンと小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を開始した。 ・子宮頸がん予防ワクチンの情報提供として、市内の公立中学校に出向き説明会を実施した（20回）。また、子育て中のお母さん向けにインフルエンザ予防ワクチンの講座を行った（3回）。

中目標に対する評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	評価理由				
	4	5.連絡が取れない家庭への支援としては、保育課との連携により、状況把握に努め、その結果、未受診把握率はあがっている。 6.発達支援をおこなう部署として平成23年に開設され、開設前に予測をしていた相談人数を超える相談者があった。また、相談事業としては予定通り順調に実施されたが、一部事業で対象者が少なく未実施となった事業があったため、おおむね順調とした。 7.麻疹風しん混合ワクチンの接種率は前年96.9%から97.4%と向上している。また、任意予防接種ワクチン3種類について、新たに接種費用の一部助成を行うとともに、予防接種の健康教育も実施した。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	5.引き続き、乳幼児健診未受診者の情報把握率100%を目指す。 6.現在の発達支援室は、平成26年度に開設される（仮称）発達支援センターの準備及び事業の一部先行実施をおこなうために開設された。センター開設に向けて、0～18歳まで切れ目のない支援ができる体制となるように、組織体制、連携体制、事業内容の整備をすすめていく。 7.予防接種の接種率向上の取り組みを引き続き行っていくとともに、任意予防接種の助成についても検討していく。さらに、健康教育の機会を利用して、感染症や予防接種の知識の普及を行っていく。					
庁内 評価 会議	評価点数	評価理由				
	4	未受診者の把握率、接種率が上がっている点は評価できる。フォローアップが行われており、システムもできている。平成26年度の（仮称）発達支援センター開設に向け、先行して一部事業を行っており、相談件数、巡回支援などセンター開設に向け順調な滑り出しだといえる。今後センター開設後はさらなる事業の充実を望む。市内部・関係機関と連携し、子どもの健やかな発育・発達のために目標100%を達成してほしい。				
評価 推進 委員会	評価点数	評価理由				
	4	・数値目標の達成に向けて順調に数値が改善している。 ・未受診者の把握率、接種率が上がっている点、フォローアップが行われており、システムもできている点など評価したい。 ・（仮称）発達支援センター開設に向けての先行事業も順調に滑り出していることも評価した。開設には期待するところが大きいので順調な事業進行を望む。				

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

7. 予防接種の接種率向上の取り組みを引き続き行っていく。 ・任意予防接種の助成について検討していく。 ・健康教育の機会を利用して、感染症や予防接種の知識の普及を行っていく。

重点目標		子育て・子育て不安ゼロ	重点施策		重点施策3		
大目標		2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	担 当 課		健康課		
中目標		(3) 歯科保健を充実します	健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度	
充 実 す る 施 策	事業名 P19	8. 歯科健診でむし歯が多い(概ね5本以上)子どもへの電話等フォロー	健診で虫歯が多かった子どもへの電話等フォローした割合		—	90%	
	事業名	9. 1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診、経過観察歯科健診					
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		68%				

事業番号	各事業の実施状況 (数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください)
8	平成23年度から、歯科健診の結果、ハイリスクの児に対し、歯科衛生士が健診後2、3か月以内を目安に電話連絡等で歯科医院に行ったかどうかの確認及び食生活、歯磨き等に関する相談・助言を行っている。 23年度のフォロー人数17名。対象人数は、1歳6ヶ月児健診からが2名、3歳児健診からが23名の合計25名だった。 不在の為、留守電に入れて終了等が8名。3名は、地区担当の保健師が関わっているケースの為、保健師を通して歯の経過を聞いてもらった。健診後、15名の方は歯科医院を受診していたが、2名は受診していなかった。むし歯8本と健診で言われて歯科受診をしたが、まだ様子をみましよう治療に進まないという相談もあった。
9	1歳6ヶ月児健診、3歳児健診、経過観察健診、乳幼児歯科相談の歯科健診でむし歯あった場合、受診勧告用紙を渡す取り組みを検討した。 日野市歯科医会と内容を検討し、乳幼児期は生涯の基本となる望ましい食生活を身につけたり、正しい発音や言語を覚えるとても大切な時期であり、乳歯のむし歯をほうっておくと将来的に永久歯や歯並び等に影響がでてしまう事を保護者に認識していただき、早期に治療をすることの大事さをアピールした内容にした。

中目標に対する評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	評価理由				
	4	8.歯科相談件数は、前年度の1,077人から1,030人と減少しているが、保健指導は、前年度の295人から1,021人に増加している。 個別案件でも、当初は3歳児健診後のフォローと考えていたが、1歳6ヶ月児健診でもハイリスク児が2名いることを把握できた。 9.健診での受診勧告用紙を日野市歯科医会と検討した。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	8.地区担当の保健師や発達など複数で関わっている方もいるので、より連携をもって対応をするように心がける。 9.・健診前の妊婦歯科講義、離乳食教室、乳幼児相談での歯科指導時に注意を促す事の大事さをより認識できたため、歯科医師用の乳幼児歯科健診マニュアル(平成16年4月発行)を見直しを図る。当初は3歳児健診後のフォローと考えていたが、1歳6ヶ月児健診でもハイリスク児が2名。2人とも上の前歯がむし歯になっており、哺乳瓶でイオン飲料等をあげてしまっていたのが原因と思われる。 ・日野市歯科医会と検討した受診勧告用紙を健診受診者に渡し、受診の必要性を丁寧に周知していくことが必要。					
庁内評価会議	評価点数	評価理由				
	4	歯科保健の充実のため、23年度から初めて取り組んだ事業であり評価できる。虫歯5本以上のお子さんへのフォローは初年度であるが、歯科医との連携によりフォロー率を高めてほしい。今後虫歯が5本以上ある子どもを少なくするために、さらに個別相談や健診、集団教育の場で歯科保健の重要性を伝え、合わせて定期的健診を充実してほしい。				
評価推進委員会	評価点数	評価理由				
	4	・23年度から初めて取り組んだ事業で大いに評価できるが歯科保健の充実のために、さらに頑張ってほしい。 ・歯科医会との綿密な情報交換をしながら事業を進めてほしい。				

平成24年度事業計画 (課題達成のための事業計画 箇条書き)

8. 健診後、受診しているのかの検証等をし、取組結果が充分生かされているかを歯科医会と連携し行っていく。
9. 平成24年度7月より受診勧告用紙を渡す取り組みを始める。乳幼児健診マニュアルの見直しを日野市歯科医会と検討する。

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策	重点施策4
大目標	3. 子育て中の親への支援	担 当 課	健康課・子ども家庭支援センター
中目標	(3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	健康指標 (数値目標)	平成21年度 目標値 平成27年度
充 実 す る 施 策	事業名 P22	10. 育児不安解消のための親支援の充実	乳児家庭全戸訪問実 施率 85% 100%
	事業名	11. 子ども家庭支援センターの子育てひろばの充実	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度
	事業名	12. 子育てひろば育児相談の充実	90.7% 25年度 26年度 27年度
	事業名	13. 親の子育て力向上支援事業の充実	乳児家庭把握率 93% 100%
	事業名		23年度 24年度 25年度 26年度 27年度
	事業名		96.5% 25年度 26年度 27年度

事業 番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
10	保健師もしくは助産師が、新生児期から3～4か月児健康診査までの乳児家庭を訪問をし、妊産婦及び新生児の健康状態の確認、育児指導を行っている。また、うつ状態をチェックする「産後うつエッジンバラ質問票」を用い、産後のメンタルヘルスの支援に重点を置き、育児不安の軽減を行っている。 訪問対象者数：1,391人 訪問実施数：1,262人 電話等による家庭状況把握数：81人 母親の精神保健の訪問数：156人 乳児家庭全戸訪問実施率 90.7%、乳児家庭把握率 96.5%
11	さまざまな環境の親子が気軽に立ち寄り、ゆったり過ごせ、交流でき、必要に応じ相談できるひろばとして充実を図った。23年度から、ミニ講座ではお父さんのための講座やアラフォーママのための講座を始めるなど、新たに時代の要請する内容を追加しながら実施した。
12	新たに高幡本部からｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲザーを定期的に派遣することとし、本部のワーカーと地域の相談員との会議についても体制の充実を図った。 子育てひろば全体のレベルアップを図るため、研修会や交流の機会を持った。相談場は保育園、児童館等22か所あり、年間相談者数5、347人。22年度5、458人より若干少ないが、20年度4、000人から比べると増加しており、身近な育児相談ができる場所として利用されている。
13	Nobody's Perfect講座やベビーマッサージ講座を実施し、新たに東京都の講師の無料派遣制度を利用しベビーマッサージ講座を実施した。多くのお父さんの参加もあった。育児等による不安を抱える家庭への育児指導員、育児家事支援員の派遣により、不安を払拭し、自信を持って子育てに当たれるようになった。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主 管 課	評価点数	評価理由			
	4	10.専門職（助産師・保健師）による乳児家庭全戸訪問の実施率、および、乳児家庭把握率が上がっており、出産後間もない時期に生じやすい育児不安などの親支援はほぼ順調に進んでいる。 11.13.お父さんやアラフォーママなど新たな層の開拓につながったため、概ね順調に取り組んでいる。 12. 子育てひろばや各家庭など様々な場で親自身の心の安定を図ることができ、親への支援につながった。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
10.現在は専門職のみで訪問を実施しているが、地域で暮らす母子にとっては、地域住民の力を借りた乳児家庭全戸訪問の方法もあるため、乳児家庭全戸訪問実施方法(者)について検討する。 11.13.各子育てひろばにも重大な内容の相談が寄せられるようになっている。各ひろばの相談員の相談対応力の向上が課題である。 12.相談につながらない子育て不安の親の把握のため、健康課等関係機関とのさらなる連携を図る。					
庁内評価会議	評価点数	評価理由			
	4	乳児家庭全戸訪問の実施率、および、乳児家庭把握率が上がっており、おおむね順調と考える。今後のケアとして電話や定期訪問の実施も必要ではないか。産後うつの支援対象数も把握したい。若い母親だけでなく、お父さんのための講座やアラフォーママを含めた支援となっており、孤立しない子育てや、相談事業の充実に取り組み、親の心の安定を図っている。虐待防止の見地からは、要支援者の的確な把握とフォロー体制の整備、関係機関の連携強化が求められるところである。			
評価推進委員会	評価点数	評価理由			
	4	・乳児家庭全戸訪問実施率、乳児家庭把握率とも上がっており、数値目標の達成に向けて順調に数値が改善している。 ・新しい層への開拓など、親支援も順調に進んでいる点を併せて評価した。 ・子ども家庭支援センター事業との連携を綿密にお願いしたい。			

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

専門職以外が訪問を実施している自治体を調査する。

重点目標		重点施策		重点施策5	
高齢者寝たきりゼロ		担 当 課		健康課	
大目標		健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度
中目標		(2) 運動などによる健康づくりを進めます		40～74歳 46.5%	40～74歳 51.5%
充実する施策	事業名 P27	1 4. 運動を始める人や運動を継続する人への支援	1回30分以上の軽く汗をかく運動週2日以上	23年度	24年度
	事業名 P27	1 5. 健康体操サポーターの養成	23年度	24年度	25年度
	事業名 P27	1 6. 運動事業の充実	調査なし	25年度	26年度
	事業名	健康体操サポーターの人数	平成21年度 31人	27年度	50人
	事業名	23年度	24年度	25年度	26年度
	事業名	31人			

事業名 番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
14	運動習慣のない方に運動のきっかけ作りを行い、健康の維持・増進を図っていただく施設として、平成23年6月から「健康サポートルーム輝(かがやき)」を運営開始。
15	「健康体操サポーター」1期生20名・2期生7名・3期生4名の31名が継続登録。4期生10名が研修生として新規登録。 「健康体操サポーター養成講座」実技講習20回・学科講習5回。年度末に4期生の「トレーナー等認定試験（学科・実技）」を実施。 サポーター派遣回数279回。派遣内訳 市民グループ 200回、楽々トレーニング体操 38回、ミニ楽々トレーニング体操 41回。
16	「さわやか健康体操」36教室・年36回開催。 「悠々元気体操教室」4教室・年36回開催。 「楽・楽トレーニング体操」2会場年20回開催。 「ミニ楽・楽トレーニング体操」前期5～9月・後期11～3月・3会場各16回開催。 「ウォーキング広場」前期4～9月・後期10月～3月各6回開催。

中目標に対する評価

評価
 5…順調
 4…おおむね順調
 3…一部遅延
 2…大幅遅延
 1…未実施

平成23年度

主管課	評価点数	評価理由
	4	各事業とも参加希望者が増加し、概ね順調に開催されている。併せて、健康サポートルーム「輝」が新たに開始され、運動事業が充実された。
	27年度までの今後の課題（箇条書き） 16.「さわやか健康体操」は、参加者が2,200人超で、同じ状況下では、なおも参加者が増え続けると予測される一方、収容人員が限界を超え会場の確保が困難で、本来、参加していただきたい65歳以上の高齢者を受け入れられないという現状を抱えている。 ・「悠々元気体操教室」は、転籍を期待していた「さわやか健康体操」70歳以上参加者の途中転籍が1名のみだった。70歳以上の方に悠々元気体操教室をすすめていく。	

庁内評価会議	評価点数	評価理由
	4	各事業の開催回数、参加人数等評価できる。参加希望者が増えていることを考えると、市民の自主グループによる運動継続の仕組みづくり・支援をさらに進めていく必要がある。また、健康体操サポーターなどの人材確保にも力を入れていくことが必要。運動を習慣づける「きっかけづくり」の支援を引き続きお願いします。

評価推進委員会	評価点数	評価理由
	4	- 各事業の開催回数、参加人数、内容については評価できる。 1回30分以上の汗をかく運動週2日以上、目標値51.5%なら、中間の数値がほしい。 - 開催場所がわからないが地区に格差があるようなら検討してほしい。 - 市民グループが今後増えそうなので健康体操サポーターは今少し増員する必要がある。

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

16. 「さわやか健康体操」は、従来の60歳以上であった対象年齢を65歳以上として、「介護予防事業」という位置付けに変更。 ・「悠々元気体操教室」は、「さわやか健康体操」70歳以上参加者に対して、より宣伝の強化をする。 ・「ウォーキング広場」は、平成23年度は応募を受けた実績より新規ニーズが低いこと等々より、24年度から専門知識を有している団体へ業務移譲した。

重点目標		重点施策		重点施策6	
大目標		担 当 課		健康課	
中目標		健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度	
充 実 す る 施 策	事業名 P31	17. 市民のゲートキーパーの養成	市民のゲートキーパー 養成数	—	1000人
	事業名	18. 保健師の健康相談			
	事業名				
	事業名		23年度	24年度	25年度
	事業名		26年度	27年度	
	事業名		181人		

事業 番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
17	保健師による日野人元気ゼミナールの中で市民のゲートキーパー養成を行い認定証を発行。 認定証発行人数：181。年間養成数目標の9割達成した。
18	乳児家庭全戸訪問の実施時に「エジンバラ産後うつ病質問表」を取り入れ、産後うつ病の早期発見・早期支援に取り組んでいる。 訪問対象者数：1,391件 訪問実施数：1,262件 母親の精神保健の訪問数：156件

中目標に対する評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	評価理由				
	4	市民のゲートキーパーの養成数は、目標の9割ではあるが、産後うつ等についても支援が必要な方には対応しており、保健師による個別支援での心の健康づくりはおおむね順調に進んでいる。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
17.市民のゲートキーパーを増やす 18.精神疾患による引きこもり者等への対応に取り組み、南多摩保健所、障害福祉課、セーフティネットコールセンター等と連携していく。						
庁 内 評 価 会 議	評価点数	評価理由				
	4	市民のゲートキーパーは、平成27年度に向け目標値に達成するように養成に努めている。自殺者が年間3万人を越えている中でうつ病の早期発見は非常に重要な事業となっている。産後うつと思われる母親等についても支援をしている。100%支援を目指したい。				
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由				
	4	・身近なゲートキーパーの養成数が目標の9割でおおむね順調であるが、ゲートキーパーの認知度を上げることが必要と思われる。 ・産後うつ病のみ調べてうつ病対策とはいえない。もっと開かれて「心の相談室」を充実させるべき。				

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

17.市民のゲートキーパー養成の講話内容を検討する。

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策7		
大目標	1. 生活習慣の改善	担 当 課	健康課		
中目標	(4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度	
充実する施策	事業名 P33 19. 喫煙・受動喫煙の健康への悪影響についての普及啓発	国保特定健診受診者の喫煙者の割合	40～74歳 12.7%	40～74歳 8%	
	事業名 P34 20. 禁煙支援の充実				
	事業名	23年度	24年度	25年度	26年度
	事業名				
	事業名	12.5%			

事業番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
19	母子手帳交付時の保健師の面接や新生児全戸訪問時に喫煙が確認できた世帯に対して、喫煙が健康に与える影響について説明し、妊婦に対して禁煙指導や禁煙の啓発を行っている。また、がん検診時に喫煙者の肺の模型を展示した。
20	肺がん検診時に喫煙者の肺の模型の展示や、特定保健指導時に喫煙の健康影響について説明し禁煙の動機付けを行い、禁煙希望者には禁煙外来の情報を提供した。

中目標に対する評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	評価理由				
	4	・国保特定検診者における喫煙者の割合が12.7パーセントから12.5パーセントに微減した。 ・母子保健活動やがん検診を活用して、喫煙についての正しい理解の普及に努めた。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	・母子保健活動を活用して、禁煙や受動喫煙防止の普及啓発方法の検討 ・動機付けを行う対象者を増加させるため、肺がん検診の受診率や特定保健指導の実施率を上昇させる。 ・喫煙者に対し、いかにして禁煙への動機付けを行うか。					
庁内評価会議	評価点数	評価理由				
	4	・禁煙の動機付けを行うための啓発活動については、母子保健活動、各種検診時などの機会を適宜捉え、継続させることが重要であるため引き続き取り組みが必要。 ・喫煙・受動喫煙の健康への悪影響については、ある程度啓発が実施されているが、喫煙によりがんとなるリスクが非喫煙者より30%高まること、治療においても支障が出やすいことなど、肺がん検診時に限らず、大人のすべての検診時に啓発する必要がある。				
評価推進委員会	評価点数	評価理由				
	4	・禁煙については、あらゆる場面で啓蒙されていることは評価できる。 ・小、中学校でたばこの害を学ぶことにより若年喫煙者を減らす活動（一部では学校薬剤師が実施中）を全校で実施することを目指す。 ・母子保健活動やがん検診ばかりでなく、親になる以前の女性（実践女子大学生等）たちに、喫煙の怖ろしさをPRするなどしたらどうか。				

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

19.喫煙・受動喫煙の健康への悪影響についての普及啓発方法の検討
20.肺、胃、大腸がん検診の精密検査対象者に対して、禁煙外来の情報の提供

重点目標		高齢者寝たきりゼロ	重点施策		重点施策8	
大目標		1. 生活習慣の改善	担 当 課		健康課	
中目標		(5) 歯科保健対策を推進します	健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度
充実する施策	事業名 P37	21. 歯周疾患検診	かかりつけ医をもつ市民の割合		—	60%
	事業名 P37	22. 市民の歯と口腔の健康に関する学習の場と情報発信	23年度	24年度	25年度	26年度 27年度
	事業名		調査なし			
	事業名		歯周疾患検診受診率		平成21年度 8.6%	目標値 27年度 12%
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度 27年度
	事業名		8.4%			

事業 番号	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
21	歯周疾患検診について、22年度は、30歳を休止し40歳から70歳まで10歳刻みで実施した。23年度は、30歳の検診を復活して実施。個別通知の中に自前作成のパンフレットを入れ、かかりつけ歯科医を持ち、日頃より検診を受けることの大事さのアピールを図ったが受診率は8.35%と前年に比べて低下した。受診者合計1,000名(内訳：30歳 144名、40歳 214名、50歳 157名、60歳 202名、70歳 283名)
22	介護予防事業の中で、65歳以上を対象とした歯と栄養の教室を年2回開催した。参加者15名(60代9名、70代5名、80代1名) 内容：簡単料理デモンストレーションと試食、お口の健口体操(顔面体操・舌体操・唾液腺マッサージ)、食後の歯の手入れなどを実施。炊飯器1つでおかずとご飯が一度で仕上がる簡単料理は、1人分でもバランスの良い食事が摂れると好評だった。炊き上がるまでの時間を有効に活用し、お口の体操・食前準備体操をしてから試食への流れは、安全に美味しく味わって食べる大切さを実感していただける教室になった。

中目標に対する評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	評価理由				
	3	21.歯周疾患検診の対象年齢（30歳）を増やし実施したが、前年度と比較し受診率が、0.2パーセント減少した。 22.お口の健康教室は、マンパワー不足から定員枠を9名で2回実施となったが、参加した方からは、とても為になった等の感想をいただいた。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き） 21.27年度 受診率目標値12%に向け、受診率向上の工夫をして取り組む。 22.高齢福祉課と連携した介護予防の視点からの教室など、より多くの方に情報発信できる健康教室の実施					
庁 内 評 価 会 議	評価点数	評価理由				
	3	・歯科医会や市関係部署と連携して、定期的な歯科検診の大切さをPRし、かかりつけ歯科医を持つ市民の増加や、歯周疾患検診受診率のアップを図りたい。 ・歯周疾患検診の受診率微減の原因を分析して、目標の達成につなげていく。 ・「かかりつけ歯科医」を持つことの意味と、どうしてそれが大事なのかについてアピールが必要				
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由				
	3	・指標が僅かに悪化したのは事業の充実（30歳検診の追加）のためと思われる。 ・10年に1度の検診のため、この機会を逃さないように市民への周知を徹底する必要があると思われる。 ・市内イベントなどでかかりつけ医をアピールするなどの活動を望む。 ・「かかりつけ歯科医」を持つことの意味と、どうしてそれが大事なのかについてアピールが必要。				

平成24年度事業計画 (課題達成のための事業計画 箇条書き)

21.歯周疾患検診の対象者に送る個別通知の封筒を他の郵送物に紛れない様目立つ黄色に変更する。
22.介護予防の観点から、お口に何かしらの問題がある方を対象に、健康課や高齢福祉課で実施している事業の案内チラシを送付して参加者増に向けて取り組む。

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策9
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	担 当 課	健康課
中目標	(2) 健康診査とフォローアップを充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度 目標値 平成27年度
充実する施策	事業名 P42 23. 健康診査の受診率向上	国保特定健診の受診率	47.9% 65%
	事業名 P43 25. 特定保健指導の受診率向上	23年度 24年度 25年度	26年度 27年度
	事業名 P43 27. 骨粗しょう症検診	48%	
	事業名 P43 28. 日野市国保医療費分析	国保特定保健指導の受診率	平成21年度 14.6% 45%
	事業名	23年度 24年度 25年度	26年度 27年度
	事業名	8.5%	

事業名	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
23	特定健診受診率 平成21年度 47.9% 平成22年度 47.2% 平成23年度 48.0% で受診率は横ばい傾向である。平成23年度は、40歳から60歳までの若年層の未受診者約6,700人に対して勧奨通知を送付し、集団検診を新たに実施したところ、291人の受診があり、受診率の向上につながった。今後も引き続き集団健診の実施と受診率の向上に努めていく。
25	特定保健指導実施率 平成21年度 14.6% 平成22年度 9.6% 平成23年度 8.5% で実施率は減少傾向である。平成23年度は特定健診未受診者を対象とした集団健診を実施し、特定保健指導の初回面接の予約につなげた。集団健診で特定保健指導の機会を得ることができたことは対象者にとっても意識づけとなり、今後も引き続き集団健診での取り組みを行い実施率の向上に努めていく。
26	健康増進法に基いた指針（40歳から70歳、5歳刻みの年齢が対象）で実施。定員100名に対して、対象者となる申込み者に関しては全員（70名）実施し、結果に基づいた個別指導の実施をおこなう。また計画にはないが、「はたちの骨密度測定」については、他市の実施状況や測定方法など収集し、実施の有無について検討。
28	平成23年度までは、国保医療費の情報収集と集約を中心に実施。平成25年度からはデータ分析と事業への活用を考えている。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主 管 課	評価点数	評価理由			
	4	23.25.特定健康診査と特定保健指導の事業実施についてはおおむね順調に実施できている。事業成果が出るまでには時間がかかるため、特定健康診査については横ばいとなっている。特定保健指導については実施率は低下しているが、経年推移を追っていく。 26.健康増進法に基づいた検診の実施はもちろんだが、検診結果を利用した集団指導および年齢の応じた個別指導を実施している。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
	23.集団健診の実施日の増（平成25年度より3日間から6日間へ増やす）。未受診者の勧奨通知を平成25年度から年2回へ増やす。 25.集団健診時、特定保健指導の初回面接予約の実施。 26.検診結果を利用した集団指導および個別指導の充実・継続を行う。骨粗しょう症予防の観点より、若年者への健康づくりや食生活改善の意識づけを目的とした実施の検討は重要である。「はたちの骨密度測定」については、成人式を会場とする場合、会場の混雑や着物着用など特殊な環境であるため、情報収集をし、検討していく。 28.医療費分析の実施、事業への活用。				
庁 内 評 価 会 議	評価点数	評価理由			
	4	受診率増にはつながらなかったが、工夫をして特定健康診査と特定保健指導を実施してる。特定保健指導の対象者をさらに分析し、特に支援が必要な方を抽出し、集中して指導したい。 骨粗しょう症健診は、集団指導にとどまらず、年齢の応じた個別指導を実施している点は評価できる。申込み者が定員に満たない原因を検証する必要がある。			
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由			
	4	・指標となる数値を見る限り、評価は低くならざるを得ない。 ・特定健診受診率が横ばい傾向であり、特定保健指導実施率は減少傾向である。特定保健指導実施率の向上が急務と思われる。 ・日野市国保医療費分析に関しては、口腔の健康状態と医療費の関係を調査してみても良いと思う。			

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

25.特定保健指導を、直営から委託へ変更し実施。集団健診時、特定保健指導の初回面接予約の実施。 26.成人式での実施について、具体的内容、方法を検討。 28.医療費分析を行う。
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者喪たきりゼロ	重点施策	重点施策9
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	担 当 課	健康課
中目標	(2) 健康診査とフォローアップを充実します		
事業名 P42	24. 各種がん検診の受診率向上		
事業名 P43	26. 各種がん検診で要精密検査となった市民の精密検査受診率の向上		
健康指標 (数値目標)		23年度 %	24年度 %
胃がん検診受診率	平成21年度 3.6% 目標値27年度 5%	3.2 (82.3) %	
大腸がん検診受診率	平成21年度 36.4% 目標値27年度 42%	38.1 (42.6) %	
肺がん検診受診率	平成21年度 1.4% 目標値27年度 3%	1.2 (77.3) %	
子宮頸がん検診受診率	平成21年度 18.9% 目標値27年度 24%	19.9 (78.2) %	
乳がん検診受診率	平成21年度 22.1% 目標値27年度 27%	19.1 (87.2) %	

※カッコ内は、精密検査受診率。子宮頸がん精密検査及び乳がん精密検査は平成22年度の数値

事業名	各事業の実施状況（数値で進捗状況の評価ができるものは数字を入れてください。市民にわかりやすいように記述してください）
24	- 胃がん検診・肺がん検診は、集団検診により各21日間、5日間、40歳以上の市民を対象として実施。 - 子宮がん検診は、4月から2月の期間に20歳以上の女性市民のうち1/2の方を対象に個別検診で実施。 - 乳がん検診は、4月から2月の期間に40歳以上の女性市民のうち1/2の方を対象に個別検診及び無料クーポン券対象である40歳から5歳刻み60歳までの女性市民を対象に4日間の集団検診を実施。 - 大腸がん検診は、日野市特定健康診査・いきいき健康診査と同時実施。
24	各がん検診の受診率は、一部検診で検診期間の延長を行い、受診者数増加を図ったが、平成22年度と比較して、胃がん0.7%減、大腸がん3.1%増、肺がん0.5%減、子宮頸がん0.2%増、乳がん0.8%減と対象者が増加した関係もあり受診率が下がったものもある。
24	受診勧奨として、 - 子宮がん、乳がんは、検診無料クーポン券対象者10,128人に、クーポン券と検診のご案内を送付。 40歳と50歳の女性を対象に、がん検診の受診勧奨通知を送付。
26	精密検査の未受診者及び受診未把握者に対し、手紙と電話により受診勧奨を行った。

中目標に対する評価

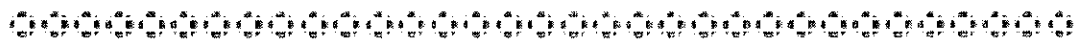
評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主 管 課	評価点数	4			
	評価理由	24.各がん検診の受診率は、増減があるものの、事業はほぼ順調に進んでいる。 乳がん、子宮がん検診を4月1日から翌年2月末日までと実施期間を長く設定したことによって、受診しやすい環境を整えた。 ほぼ順調にすすんでいる。 26.引き続き、フォローアップ体制の充実を図る			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）	24.受診を促す手紙の内容の検討 26.精密検査未受診者に対するフォロー体制の確立 26.未受診者抽出、受診勧奨までに時間がかかる。			
庁 内 評 価 会 議	評価点数	4			
	評価理由	5種の検診のうち、3種が受診率減となった。実施方法・内容を工夫しているが、24年度からの一部自己負担の導入もあり、より一層の工夫が必要。 精密検査の未受診者及び受診未把握者の抽出、受診勧奨までに時間がかかっても、着実にフォローすることが必要			
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	4			
	コメント	・がん検診で受診率が下がったものに関しては、募集期間を延ばす、あるいは、広報活動を充実させるなどの、何らかの努力が必要と考える。			

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

24.受診者の利便性の向上を目的に、胃がん・肺がん・大腸がん検診を同日受診できるように変更。
24.胃がん、肺がん、大腸がん検診を年3回実施により、受診機会を増やす。
26.5大がん検診のフォローアップ体制の統一に向けて業務内容の整理
26.検診受診からフォローアップまで期間の短縮



重点以外の施策の評価



【日野人げんき！」プラン 重点施策以外進捗状況評価結果一覧表】

中目標に対する評価点数 5・・・順調 4・・・おおむね順調 3・・・一部遅延 2・・・大幅遅延 1・・・未実施

重点目標	大目標	中目標	主管課 評価点数	庁内 評価 会議 評価 点数	庁内評価会議評価理由
子育て・子育て不安ゼロ	1 安心して妊娠・出産するための支援	(2) 夫婦協力による子育ての意識づくりを推進します。	4	4	・核家族化による子育て不安解消には有意義な施策である。 ・育児に参加しよう・したいという父親は、少しずつではあるが増えている。しかし、参加しよう・したいということを実行する社会条件が整っていない。 ・啓蒙活動などで、父親も参加しやすい講座の仕組みが必要である。
	2 子どもの健やかな発育・発達への支援	(2) 食環境を充実します	5	5	・幼児期から食の大切さを保護者や保育園・幼稚園などで食育推進指導を行なっていることは、評価できる。 ・食は体づくりの基本である。参加者のニーズに合わせるだけでなく、本来必要なことの内容としたい。
	3 子育て中の親への支援	(1) 子育てに関する相談体制を充実します	4	4	・子供虐待防止など子ども家庭支援センターと健康課と連携して子育て・育児相談など幅広い相談を実施していることは評価する。 ・虐待や育児相談など、早い段階で相談できる体制作りは大切である。 ・今後は課題の整理や実施についても充実を図ることが必要。 ・民生児童委員が忙しすぎて本来の設置目的を全うできなくならないように配慮が必要。
	3 子育て中の親への支援	(2) 子育てが楽しめる環境づくりを進めます	4	4	・図書館を子育てのための地域の拠点として有効活用している。 ・子育て負担感、不安感の解消に役立っている。 ・地域社会全体で子育てサポートができるような仕組みを継続することが必要。
	3 子育て中の親への支援	(4) 地域における子育て支援を充実します	5	5	・育児支援事業など各事業実施状況や取組を見ると成果が上がっている。 ・多様な保育形態をつくることで、保護者のニーズに答え、子育てへの支援を図っている。しかし、待機児童の解消はさらに取組まなければならない。

【日野人げんき！」プラン 重点施策以外進捗状況評価結果一覧表】

中目標に対する評価点数 5・・・順調 4・・・おおむね順調 3・・・一部遅延 2・・・大幅遅延 1・・・未実施

重点目標	大目標	中目標	主管課 評価点数	庁内評価 評価点数	庁内評価会議評価理由
高齢者寝たきりゼロ	1 生活習慣の改善	(1) より良い食生活のための支援をします	4	4	・食は健康の基本であり、また、介護予防の観点から食生活は大切な部分なので、各事業の充実を期待する。 ・食生活に関する相談窓口があることを積極的にPRする必要がある。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(1) 女性の健康づくりを進めます	4	4	・骨粗しょう症検診受診者が予定数より少ない原因の究明が必要。 ・また、検診が浸透してきているということであれば、「はたちの骨密度測定」を実施して、若いうちからの啓発を図って欲しい。 ・ワクチンや検診で防げる病気をPRしていくことはぜひ必要である。 健康相談は、住民のニーズを把握し充実した体制を目指すことを望む。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(3) かかりつけ医を普及します	3	3	かかりつけ医を持つことの意義について、医師会や歯科医会などの関係機関と連携し、市民が理解できるような活動を行い、結果、かかりつけ医が普及することを望む。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(4) 健康づくりを啓発します	4	4	最近健康志向が高まっているので、あらゆる機会を利用し啓発を行えば、効果的な健康づくりの啓発が可能。さらに工夫して実施していくことを望む。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(5) 健康づくり推進員の養成と活動を推進します	4	4	今後も市民の健康増進のため、健康づくり推進委員の増加につとめ、健康づくりのための様々な取組の充実を図ることを望む。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(6) 地域医療体制を充実します	4	4	・効果的、機能的な救急医療体制の充実、市町村だけでは困難である。 ・消防署や医師会からの情報収集や体制づくりのための定期的な会合が必要である。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(7) 健康を支える都市環境を整備します	4	4	健康を支える都市環境の整備を目指し、今後もさらなる各事業の推進を期待する。
	3. 生きがいや心の充足の向上	(1) 地域活動グループを支援します	3	3	参加者のニーズを把握し、方向性や自主活動ができるような誘導策の検討が必要。
	3. 生きがいや心の充足の向上	(2) 生涯学習を推進します	4	4	施設の利用者、事業参加者が増えているということで、生涯学習への関心が高いことがわかる。今後もニーズに応えるべく内容の工夫を望む。
	3. 生きがいや心の充足の向上	(3) 社会活動への参加を促進します	4	4	・ハローワーク（高齢者の雇用促進事業）については、年々増加していることは、厳しい社会情勢を反映し、事業としては評価する。 ・また、農の学校についても、受講生が多く、年々市民が趣味と生きがいをもって受講している。 ・農業者が高齢になり、働き手として農のボランティアの活動に繋がっていることも評価できる。
	4. 介護予防の推進	(2) 介護予防を推進します	4	4	・「はつらつチェック票」から介護による様々な心身機能低下等個々のチェック内容により、悩み・病気・心身など幅広く把握している。 ・これにより、第二次予防対策者の把握で健康課の介護予防事業など関係課や関係医療機関と連携した対応の展開ができるので、これからも充実を図っていくことを望む。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課 子育て課 男女平等課
大目標	1. 安心して妊娠・出産するための支援	連絡先（内線）	7705 2517 584-2733
中目標	(2) 夫婦の協力による子育ての意識づくりを進めます	げんきプラン該当ページ 47	
事業名 (取り組み内容)	1. 男性の子育て講座の実施		
事業名 (取り組み内容)	2. 子育てがしやすい就労環境づくり		
事業名 (取り組み内容)	3. 男女平等参加による子育ての普及・啓発		
事業名 (取り組み内容)			
事業名 (取り組み内容)			
事業名 (取り組み内容)			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
1	①ママパパクラス(基礎・沐浴・休日基礎)父親延べ参加人数 平成23年度 274名(平成22年度 368名) 平成22年度に比べ94名減少。 ただし母親の参加数も平成23年度452名、平成22年度628名と176名減少。したがって父親の参加割合としては、平成23年度60.6%、平成22年度58.5%と横ばい。 ②父親が参加しやすい講座内容の検討をする。 ③父親が講座に参加し、母親とともに妊娠期に興味を持ち考える機会となる講座内容を検討し、改善していく。
2	①計画策定に向け、関係部署との庁内調整を実施
3	①保育サービス、子育て相談、子育て支援事業、子育てサークルなどに関する情報提供 ②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するための啓発、情報提供

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	①男性の講座の充実に向け、検討・改善に取り組んでいる。 ②行動計画の進捗状況確認として、中間調査を実施。（平成24年6月） ③子育てに関する情報やワークライフバランスの啓発・情報提供のために、男女平等推進センターにおいて、パンフレット、チラシの配布、ポスターの掲示等を行った。またホームページへの掲載を行った。 ④第二次男女平等行動計画（計画期間：平成23年度～27年度）においても、推進施策として位置づけた。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	①ママパパクラスにおいて、父親も参加しやすい講座内容の検討と、内容の充実を図る。 ②平成26年までの時限立法として作成した市町村行動計画の見直し。（平成27年からの新たな計画策定） ③国や都の動向を踏まえた日野市における子ども・子育てに係るニーズの把握（ニーズ調査の実施） ④平成23年度におけるこうした取り組みは、意識啓発の域を出ていない。今後は、地域の多様な主体（市民団体、自治会、企業等）との連携・協働を図るなど、より実践的な取り組みを進めていく必要がある。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	核家族化による子育て不安解消には有意義な施策である。育児に参加しよう・したいという父親は、少しずつではあるが増えている。しかし、参加しよう・したいということを実行する社会条件が整っていない。現状からみれば、父親も参加しやすい講座の仕組みが必要である。				

平成24年度事業計画

①ママパパクラス講座内容の見直しを行い、内容の充実を図る。 ②各施策、事業実施に伴う、関係部署との連絡調整体制の拡充 ③平成25年度のニーズ調査に向けた準備体制の構築 ④地元企業への働きかけ…長時間労働の見直し、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みの奨励 ⑤地域の多様な主体（市民団体、自治会、企業等）との連携・協働による各種イベントの開催
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	連絡先（内線）	7705
中目標	（2）食環境を充実します	げんきプラン該当ページ 47	
事業名 （取り組み内容）	4. 離乳食教室		
事業名 （取り組み内容）	5. 幼児食教室		
事業名 （取り組み内容）	6. 元気☆簡単朝ごはん教室		
事業名 （取り組み内容）	7. 子どもの食育の推進		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
4	離乳食教室…離乳食の作り方と試食、子どもとの関わり方、歯について 初期24回 522名、中期24回 403名、後期12回 304名、完了期12回 230名
5	幼児食教室…1歳7か月から2歳頃の食事の話、子どもの関わり方について 12回 230名
6	保育付き 元気☆簡単朝ごはん教室…妊婦及び乳幼児・児童保護者向けの調理実習と食生活の話 11回 167名
7	乳児健診集団指導 1414名、1歳6ヶ月児健診個別指導 362名、3歳児健診 133名、乳幼児健康相談 405名

進捗状況の評価

進捗状況の評価					
評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主管課	評価点数	進捗状況			
	5	教室でのアンケートや健診での相談内容を精査し、指導者間の情報の共有を図り、参加者のニーズを的確に把握したため、参加者からは概ね好評を得た。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
	指導者間の教室後アンケートの情報共有により、参加者のニーズ変化に対応していく。				
庁内評価会議	評価点数	コメント			
	5	幼児期から食の大切さを保護者や保育園・幼稚園などで食育推進指導を行なっていることは、評価できる。食は体づくりの基本である。参加者のニーズに合わせるだけでなく、本来必要なことの内容としたい。			

平成24年度事業計画

・参加者アンケート、指導者間の意見交換により、各教室の指導内容・媒体の見直しを検討する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課・子育て課
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	連絡先（内線）	7705
中目標	（4）子どもの豊かな遊びの環境づくりを進めます	げんきプラン該当ページ 48	
事業名 （取り組み内容）	8. 子どもと楽しむ公園マップの活用		
事業名 （取り組み内容）	9. ジュニアリーダーの育成		
事業名 （取り組み内容）	10. 集える場		
事業名 （取り組み内容）	11. ジュニアリーダー講習会		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
8	H23に年度更新を行いホームページにアップし、多くの方たちに公園マップを活用してもらえるようになった。
9	【プレイワーカー派遣】 子ども会の集まりに、遊び方の指導などのためにジュニアリーダーを派遣。地域の子どもたちとの交流にリーダーを育成。（5団体に派遣） 【遊友ランド】 青少年委員を中心に、地域のボランティアの方や子ども（中学生、高校生、大学生等）たちが、障害のある子もいない子も一緒に、遊びを通して楽しい時間を過ごす。 参加者合計263人（ボランティア：中学生7人、高校生15人、大学生68人、一般15人）（参加者：子ども、91人、大人46人、関係者21人） 【手をつなごう・こどもまつり】延べ11,500人参加 市内の青少年育成団体、NPO、子どもに関連する団体等と児童館・公立保育園で実行委員会を構成し実施。 ジュニアリーダーが司会進行を行い、各ブースでは子どもが中心となって交流を深める。
#	自然体験広場：夏季期間6、808人が利用。秋季1、200人が利用
#	参加人数：受講生（小学生28人、中学生20人）リーダー（高校生、大学生28人）が参加 実施回数：8回の講習会を実施。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	5	⑧について：公園マップ内容の充実を図り、子ども達がのびのびと自由に遊べる場を紹介しています。 ⑨～⑪について：各事業も例年同様順調に継続しており、子どもの健やかな発育、発達の支援、豊かな遊びの環境づくりについては、行政のみならず、市民との協働が不可欠である。市内の各青少年育成団体等と協力し、今後も事業に取り組む。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	⑧について：紙ベースも併用し、より多くの方々に活用してもらえるようにしたい。 ⑨～⑪について：青少年育成事業においては、子どもたちが成長段階に応じて地域に入って活動や活躍することが非常に重要である。子どもたちが、自ら地域で活躍することの意識啓発や仕組みを拡充することが必要。					
庁内 評価 会議	評価点数	コメント				
	5	地域の様々な人々との交流を通して、子どもたちの遊びや体験の場が整備されている。子供の発達段階で必要な一つとして、友達と遊ぶことで協調性・ルールなど学習ができる。家庭や地域の見守りが必要であり、そのためにジュニアリーダー等の育成、子供たちが安心して自由に遊べる場所の紹介の取組も評価できる。				

平成24年度事業計画

- ・継続した事業の実施
- ・子どもたちが主体となった企画・イベントの検討と支援。
- ・青少年育成団体等との連携

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	連絡先（内線）	7705
中目標	（5）充実した医療環境を整備します	げんきプラン該当ページ 48	
事業名 （取り組み内容）	12. 小児初期救急診療		
事業名 （取り組み内容）	13. 休日・夜間診療の充実		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
12	平日準夜小児救急医療事業 水・木・金（祝・年末年始除く） 午後7時30分～午後10時30分 平日準夜 こども応急診療所にて実施 平成23年度受診者 821人
13	休日急病診療事業 日・祝・年末年始 午前9時～午後5時 内科ほか 2医療機関で実施 受診者 5,236人 休日準夜診療事業 土・日・祝・年末年始 午後7時30分～午後10時30分 内科・小児科 休日準夜診療所で実施救急診療事業 受診者 1576人 休日歯科応急診療事業 日・祝・年末年始 午前9時～午後5時 歯科休日歯科応急診療所で実施 受診者 364人

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	多数の市民が休日・夜間の診療事業を利用しており、一定の成果を上げているといえる。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	休日歯科応急診療事業については、休日に診療する歯科診療所もあるため、市がどこまで実施する必要があるのか、考慮する必要がある。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	市民の安全・安心を守るため、平日準夜診療、休日緊急診療、夜間診療など子供を持つ市民の要望が強く、一定の成果を挙げているので評価する。小児の夜間救急のない曜日の実施の検討が必要である。また、休日や夜間に診療する歯科診療所が増えている中、歯科応急診療事業の見直しの必要がある。				

平成24年度事業計画

平成23年度と同様

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	学校課、健康課
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	連絡先（内線）	7705
中目標	（6）学童・思春期における保健教育を充実します	げんきプラン該当ページ 48	
事業名 （取り組み内容）	14. 食育への取り組み		
事業名 （取り組み内容）	15. 学校給食の充実		
事業名 （取り組み内容）	16. 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の推進		
事業名 （取り組み内容）	17. 学校保健講演会の開催		
事業名 （取り組み内容）	18. 学校保健委員会の充実		
事業名 （取り組み内容）	19. 定期健康診断の実施		

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
14	①中学校全8校で、中学校3年生を対象にテーブルマナー教室を実施。 ②各小・中学校で食育事業実施。幼稚園では、年長組保護者に独自の食育リーフレットを配布。 ③第2期食育推進計画の策定に向け、小中学生の朝食欠食率アンケート調査を実施。
15	小学校1校の学校給食調理業務等を民間委託。民間委託に合わせ、磁器食器の導入、スチームコンベクションオープンを設置。（学校給食調理業務等委託校 小学校17校中8校、中学校全8校）
16	薬物乱用防止教室を全小中学校25校で実施。中学校では、喫煙及び飲酒の防止教育を保健体育等で実施。
17	日野市学校保健会による講演会を12月1日に開催。講演内容は、『気になる子どものかかわり方～児童・思春期精神科医からのメッセージ～』
18	学校保健委員会を小中学校20校で設置し、委員会を開催して、児童生徒の健康に関する課題を協議。
19	学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員に定期健康診断を実施。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	第2期食育推進計画（平成24年度～平成28年度）において、「小中学校の食育の取り組み」を重点推進事業として設定することを検討。 各事業について着手し、おおむね順調に遂行している。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	①第2期食育推進計画では子どもたちへの食育を重点推進事業として設定し、推進する。 ②テーブルマナー教室をはじめ、各学校における食育事業の充実。 ③学校保健委員会の未設置校をなくし、定期的な委員会活動を行う。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	小学校・中学校での食育事業、地産・地消の推進など評価できる。また、テーブルマナー、偏食への取組や保健指導への取組を評価する。思春期におけるからだの問題、心の問題への取組みとして、正しい知識の普及に努めている。着実に成果を上げていると思う。保健教育を継続的につづけて、子どもの健やかな発育・発達の支援が必要。				

平成24年度事業計画

①小学校1校の学校給食調理業務等を民間委託。民間委託に合わせ、磁器食器の導入、スチームコンベクションオープンを設置。（学校給食調理業務等委託校 小学校17校中9校、中学校全8校） ②他の各事業も、昨年度に引き続き着実に実施。 ③第2期食育推進計画の策定
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課 子育て課 福祉政策課
大目標	3. 子育て中の親への支援	連絡先（内線）	7705 2517 2811
中目標	（1）子育てに関する相談体制を充実します	げんきプラン該当ページ 49	
事業名 （取り組み内容）	20. 相談ネットワークの構築		
事業名 （取り組み内容）	21. 子どもの虐待防止		
事業名 （取り組み内容）	22. 子ども家庭支援センターと健康課の連携		
事業名 （取り組み内容）	23. 各種相談事業の実施		
事業名 （取り組み内容）	24. 民生委員による相談		
事業番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み		
20	①要保護児童対策地域協議会により、各地域に開設されている相談機関窓口との、情報交換と連携を図りより充実した相談ネットワークを構築している。		
21	①虐待防止に関する、広報活動。また、関係機関との連携を図ることにより、児童虐待の早期発見予防を図っている。また、地域住民への啓発活動によって、児童虐待に対する目を養い、地域で防止するという意識の向上につとめる。		
22	①子ども家庭支援センター（高幡本部）と健康課との連携強化会議を年6回行い、具体的なケースの情報共有や連携方法等について打ち合わせを行っている。 ②地域子ども家庭支援センターと健康課とは具体的なケースについて随時情報提供書をやり取りし、連携関係を築いている。 ③本部のワーカーのケースワークにおいても保健師の同行訪問等、日頃から連携した動きをとっている。		
23	①育児・しつけ相談：市内各地域のひろば、児童館、保育園で実施。 ②児童の心の相談：地域子ども家庭支援センター二か所で実施。 ③児童家庭総合相談：子ども家庭支援センター高幡で実施。 ④乳幼児健康相談：市内の4児童館と生活保健センターを実施会場として、年間54回、1510人（リピーターも多いので実数は下がる） 来所者は、全員が相談希望者ではなく、来所者全体の38%が身長・体重計測のみを目的に来所していた。残り62%が健康相談を希望し受けている。相談の件数は、栄養相談405件／年、歯科相談488件／年 予約なしの自由来所の体制で実施している。そのため、一回当たりの来所者にばらつきが生じ、来所者が多い時には、一人当たりにかけられる相談時間も短くなってしまふ。 個々の母親が持つ「育児上の気がかり」に対して、専門職が答えるメリットは「教科書的信頼性」として意味があることである。しかし、相談の多くは、地域の中で横や縦のつながりが住民同士で持てていれば、その中で「聞きあう」ことで解決できることがほとんどであった。		
24	①民生委員による「子育て」に関する相談件数 平成23年度：71件 平成22年度：29件 ②各児童館で開催している「すくすくクラブ」へ当番制で民生児童委員が参加し、親たちの相談にも対応している。		

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	①地域各関係機関・相談窓口との情報交換・相互連携により、相談者の支援を行った。 ②乳幼児健康相談の実施および保健師、歯科衛生士、栄養士による個別相談は随時実施しているため、概ね順調といえる。 ③「子育て」に関する相談件数は平成23年度71件（平成22年度より42件増）住民に民生児童委員の存在が認識された。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	①地域各関係機関・相談窓口の相談員の能力向上のため、研修会の実施、情報交換の充実を図る。 ②各地域の身近な相談窓口として、広く市民への周知活動に努める。 ③現在行っている健康相談を、より効率的に目標を達成するために、類似の目的で行っている他機関の事業との差別化を図り、より住民の方に有益な相談体制の構築を検討し実施していく。 ④民生児童委員の存在がさらに認識されるよう、地域の行事に参加・協力しPR活動を推進する。					
	コメント					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	子供虐待防止など子ども家庭支援センターと健康課と連帯して子育て・育児相談など幅広い相談を実施していることは評価する。虐待や育児相談など、早い段階で相談できる体制作りは大切である。今後は課題の整理や実施についても充実を図ることが必要。民生児童委員が忙しすぎて本来の設置目的を全うできなくならないように配慮が必要。				

平成24年度事業計画

①地域各関係機関・相談窓口との情報交換・相互連携により、相談者の支援を行う。 ②各関係機関の相談員の能力向上のため、研修会の実施。 ③現在行っている健康相談を、より効率的に目標を達成するために、類似の目的で行っている他機関の事業との差別化を図り、より住民の方に有益な相談体制の構築を検討し、調整の準備をすすめる。 ④民生児童委員の存在がさらに認識されるよう、より効果的なPR活動の検討。					
--	--	--	--	--	--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	図書館、健康課
大目標	3. 子育て中の親への支援	連絡先（内線）	7702、7705
中目標	（2）子育てが楽しめる環境づくりを進めます	げんきプラン該当ページ 49	
事業名 （取り組み内容）	25. 図書館における取り組み		
事業名 （取り組み内容）	26. 親子ふれあい事業の充実		
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み		
25	①市内4館で定例おはなし会を開催。子ども読書の日にちなんだおはなし会を市内6館で開催。		
	②子どもの読書に関する講座（乳幼児向け）2種計3回開催（わらべうた・手袋人形）参加総人数112人		
	③これまでの保育園への配本（50冊）に、園から要望のあった乳児向け図書（30冊）を加えた。万願寺子ども家庭支援センターにも配本を開始。		
	④子育て支援に関する本や雑誌の展示を、中央・高幡・日野・百草の4館で開催。		
26	①これまで配布してきた「赤ちゃん絵本リスト」に替え「0～2歳児向け」「3歳児～向け」2種の赤ちゃん向け絵本リストを作成		
	②乳幼児を持つ保護者向け図書館利用案内を作成①②を乳幼児健康診査時に配布		
	③①リスト掲載の本を中心とした絵本を配本予算で購入し、乳幼児健康診査会場（待合）に配置。閲覧に供している。		

進捗状況の評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主管課	評価点数	進捗状況			
	4	①おはなし会・各講座開催・乳幼児健診等により日頃図書館を利用しにくい乳幼児の保護者にむけ、利用をPRすることが出来た。②配本施設を増やし、資料を効率的に共有することにより市内のいろいろな場所で乳幼児や保護者が本と触れ合う機会が増えた。③予定通り、子育て支援に関する本や雑誌の展示を開催し、情報提供と利用の向上につながった。④乳幼児健診に於いて保育士による親子の絵本による関わり方等についての集団教育を継続実施。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
	①乳幼児向け資料を充実させ、「“子育てを楽しむ道具の一つとしての本”がある図書館」を乳幼児健診等でPRする。				
	②子育て支援に関連した本やおすすめの絵本の展示を乳幼児健康診査会場等で行うことにより乳幼児の保護者の利用を促進する。				
庁内評価会議	③子ども連れでも安心して利用できる環境を整備する。				
	評価点数	コメント			
	4	図書館を子育てのための地域の拠点として有効活用している。子育て負担感、不安感の解消に役立っている。地域社会全体で子育てサポートができるような仕組みを継続しすることが必要。			

平成24年度事業計画

①中央図書館の0～2歳児向けおはなし会開催時間を、午前中に変更し参加増をはかる。	
②職員のマンパワーを活かした乳幼児向けの講座を、他課と協働して開催する。 （保育園の協力を得て「手作りおもちゃと絵本読み聞かせ講座」を実施）	
③乳幼児関連施設への配本を充実させる一環として、児童館への乳幼児向け図書の配本を開始する。	
④親子のふれあいを深める関わり方（絵本の読み聞かせ方等）について図書館との連携により作成されたリーフレットを3～4か月児健診で配布。	
⑤乳幼児健診に於いて保育士による親子の関わり方等についての集団教育実施。	

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	1. 子育て・子育て不安ゼロ	担 当 課	子ども家庭支援センター 保育課
大目標	3. 子育て中の親への支援	連絡先（内線）	子ども家庭センター 7737 保育課 2611
中目標	（4）地域における子育て支援を充実します	げんきプラン該当ページ 49～50	
事業名 （取り組み内容）	27. 子育てパートナーの育成と活動支援		
事業名 （取り組み内容）	28. ファミリーサポートセンターの充実		
事業名 （取り組み内容）	29. 保育園の拡充		
事業名 （取り組み内容）	30. 病後時保育の充実		
事業名 （取り組み内容）	31. 保育事業の充実「一時保育」		
事業名 （取り組み内容）	32. 保育事業の充実「トワイライトステイ」		
事業名 （取り組み内容）	33. 保育事業の充実「ショートステイ」		

事業番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
27	連続7回子育て支援者養成講座実施。修了生5名 パートナー18名 延べ173名（受講生74名 ひろば関係者15名 パートナー83名） 子育てひろば等で活動
28	育児支援事業（依頼会員数4,337名 提供会員数577名 両方会員数134名 活動件数3,398件） 家事支援事業（依頼会員数2,946名 提供会員数513名 両方会員数100名 活動件数1,487件） 事業所数2
29	平成23年度に認可保育園1園（日野駅前かわせみ保育園：定員86人）、認証保育所（第二曉愛児園：定員40人）を開設 するとともに、既存の認可保育園の定員拡大を図った（栄光平山台保育園：33人定員増 30人→63人）。
30	平成23年度利用人数：佐々木クリニック560名、たかはた北67名 合計627名（22年度合計637名） →利用人数はおおむね横ばいである。
31	子ども家庭支援センター一時保育室 1,170人（登録者255人）・障がい児49人（2人）、わかば保育園高幡分園1,063人、 あかいやね1,063人、しせい太陽の子677人、至誠あずま保育園1,102人、ぽっかぽか41人
32	564人（登録者77人）
33	一般世帯138人、生活保護受給世帯・市民税非課税世帯95人、送迎125件

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	5	各事業を通じ、他機関では取扱い不可能な、多様な時間帯・特殊な場所・細かな状況等への、細かなニーズに対応をすることができた。また、保育園の拡充、病後児保育の継続実施により、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することができた。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	（事業番号27・28・31・32・33） ・それぞれの事業について、利用しやすい事業とするため、利用者からの声の吸い上げ、事業実施業者との協議を行う。 （事業番号29・30） ・保育園入園希望数の動向を踏まえ、保育園待機児童の解消を図る（平成23年4月1日待機児童数122人）。 ・病児・病後児保育の利用を促進するために、周知等を積極的に行っていく。					
庁 内 評 価 会 議	評価点数	コメント				
	5	育児支援事業など各事業実施状況や取組を見ると成果が上がっている。多様な保育形態をつくることで、保護者のニーズに答え、子育てへの支援を図っている。しかし、待機児童の解消はさらに取組まなければならない。				

平成24年度事業計画

（事業番号27・28・31・32・33） ①在宅三事業について、定期的に利用者からの声を吸い上げ改善できる点については改善し、そのほかの改善については、実施事業者との協議により随時行っていく。 ②トワイライトステイについて、一般世帯への移送費の受益負担を実施。生活保護受給世帯・市民税非課税世帯については、減免とする。（在宅三事業） ③子育てパートナーとして、支援者の養成を実施し、子育てひろば事業を地域で支える仕組みづくりを目指す。 ④利用件数の上昇を図るため、利用しやすい条件整備と会員募集・広報業務に力を入れる。（ファミサポセンター） （事業番号29・30） ⑥認可保育園1園（至誠いしだ保育園：定員100人）を開設する（平成24年4月1日開設済）。	
--	--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	1. 生活習慣の改善	連絡先（内線）	7705
中目標	（1）より良い食生活のための支援をします	げんきプラン該当ページ 51	
事業名 （取り組み内容）	1. 市のホームページ等を活用した情報提供		
事業名 （取り組み内容）	2. 特定保健指導の充実		
事業名 （取り組み内容）	3. 男の基礎料理塾（介護予防事業）		
事業名 （取り組み内容）	4. 食生活相談		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
1	食の安全・安心にかかわる情報を中心に、公官庁などから収集し、情報発信した。 24年度ホームページ全面変更を控え、ホームページのあり方について検討した。
2	特定保健指導（直営）を実施。 22年度 初回面接実施者数142人（実施率9.6%） 最終評価実施者数132人（継続率93.0%）
3	①「男の基礎料理塾」 65歳以上の男性限定 初心者料理教室 6回×2コース のべ参加人数 209名 ②「高齢期の栄養と歯の教室」 炊飯器を使った簡単料理のデモンストレーションとお口の健口体操 2回 15名
4	食生活相談 来初相談 70件、電話相談 12件

進捗状況の評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主管課	評価点数	進捗状況			
	4	・特定保健指導は、利用者のうち93%が最終評価まで継続することができた。また約64%の利用者に減量の効果が、約60%に運動習慣・食生活の改善効果が見られた。 ・「男の基礎料理塾」「高齢期の栄養と歯の教室」では、高齢者へ介護予防について普及啓発を行った。 ・食生活相談は随時受け付けた。			
		27年度までの今後の課題 （箇条書き）			
		・ホームページの適時更新の方法について検討する。 ・特定保健指導を委託で実施し、指導内容の充実を図る。継続率を直営並みに維持し、次年度の対象者を減らしていく。 ・高齢福祉課と連携し、「男の基礎料理塾」「栄養と歯の教室」の周知・募集を効率的に行う。 ・必要に応じ、訪問栄養相談を実施する。			
庁内 評価 会議	評価点数	コメント			
	4	食は健康の基本であり、また、介護予防の観点から食生活は大切な部分なので、各事業の充実を期待する。 食生活に関する相談窓口があることを積極的にPRする必要がある。			

平成24年度事業計画

・ホームページの適時更新の方法について検討する。 ・特定保健指導委託仕様書の見直しにより、保健指導内容の充実を図る。 ・高齢福祉課と連携し、「男の基礎料理塾」「栄養と歯の教室」の周知・募集を効率的に行う。 ・必要に応じ、訪問栄養相談を実施する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	連絡先（内線）	7705
中目標	（1）女性の健康づくりを進めます	げんきプラン該当ページ 52	
事業名 （取り組み内容）	5. 女性なんでも健康相談の実施		
事業名 （取り組み内容）	6. 骨粗鬆症検診、子宮がん検診、子宮頸がん予防ワクチン接種事業の実施		
事業名 （取り組み内容）	7. 働く女性のための職域保健との連携		

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
5	①女性なんでも健康相談H16年より開始事業。女性特有の疾患や症状に対し、専門医による健康相談を月1～2回実施。相談者からの評価は非常に良いが、相談者数及び実施回数の伸び悩みがあり。今後のあり方について検討し、H24年度より一旦休止とする。健康相談については、保健師による一般健康相談の中で、引き続き対応する。
6	②骨粗しょう症検診、子宮がん検診、子宮頸がん予防ワクチン接種事業について重点施策2、9参照。 骨粗鬆症検診については、定員100名に対して申込み者全員実施し、女性特有の年齢による女性ホルモンの分泌を考慮した個別指導の実施も図っている。 子宮ガン検診については、市内医療機関での個別実施、通年実施の継続、及び若い世代への周知として成人式、乳幼児健診に参加される子育て世代へ作成したリーフレット配布を行う。合わせて、子宮がんの予防対策としてH23年4月より子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成を開始。対象人口3,075人、接種者実人数1,911人、接種者延人数4,942人である。
7	③働く女性のための職域保健との連携について、市内企業への出張健康教室の中で、乳がんモデルの使用や子宮がんのリーフレットの配布などによる啓発活動、日野市の健康事業の紹介を実施。市内の実施医療機関の紹介を行う。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	4	①専門医による健康相談はH24年度より一旦休止となるが、保健師による一般健康相談で引き続き対応をしていく。 ②・骨粗鬆症検診 定員100名のところ、H22年度受診者数69名、H23年度受診者数70名 ・子宮がん検診 若い世代へのリーフレット作成、配布。（成人式、乳幼児健診来所の母親） ・子宮頸がんワクチン接種費用助成 H23年度より開始。 ③出張健康教室を通じて、職域との連携、啓蒙活動を展開。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	①保健師による一般健康相談で対応。その中で、住民のニーズを把握し、事業の再開の必要性の有無について検討。 ②骨粗しょう症検診は引き続き継続。若年者対象「はたちの骨密度測定」の実施検討。子宮がん検診、子宮頸がん予防ワクチン接種事業は実施継続。 ③引き続き、出張健康教室を通じて、職域との連携、啓蒙活動を実施。					
庁 内 評 価 会 議	評価点数	コメント				
	4	骨粗しょう症検診受診者が予定数より少ない原因の究明が必要。また、検診が浸透してきているということであれば、「はたちの骨密度測定」を実施して、若い世代からの啓蒙を図って欲しい。 ワクチンや検診で防げる病気をPRしていくことはぜひ必要である。 健康相談は、住民のニーズを把握し充実した体制を目指すことを望む。				

平成24年度事業計画

- ①H24年度より一旦休止。保健師による一般健康相談で対応。
 ②「はたちの骨密度測定」については、他市の状況や具体的な方法など情報収集し、検討。子宮がん検診、子宮頸がん予防ワクチン接種事業は継続実施。
 ③職域保健との連携の方法について。上記以外の方法の展開の必要性について検討する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	連絡先（内線）	7705
中目標	（3）かかりつけ医を普及します	げんきプラン該当ページ 52	
事業名 （取り組み内容）	8. 在宅要介護者等への歯科医療サービス		
事業名 （取り組み内容）	9・かかりつけ医機能の推進		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
8	歯科医療連携事業（歯科の訪問診療）のリーフレットを市民課や関係支所、介護施設等にも置いてPRした。 広報での周知回数を増した。
9	医療マップを作成配布した。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	3	医療マップを作成し、配布しているが、かかりつけ医機能推進委員会は、休会状態にある。今後の展開を含め、何をどのように行っていくか再検討しなおす。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	かかりつけ医機能の推進は、今後啓発方法を含め、在宅医療制度等と連携を視野にいれ行っていく必要がある。全面見直し。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	3	かかりつけ医を持つことの意義について、医師会や歯科医会などの関係機関と連携し、市民が理解できるような活動を行い、結果、かかりつけ医が普及することを望む。				

平成24年度事業計画

医療マップの作成や配布方法について、継続していくが、今後の啓発活動方法について再考し関係機関（医師会・歯科医会等）と連携し構築しなおす。
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	連絡先（内線）	7705
中目標	（4）健康づくりを啓発します	げんきプラン該当ページ 52	
事業名 （取り組み内容）	10. 健康フェア		
事業名 （取り組み内容）	11. 日野人げんき！応援団の活動		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
10	①健康フェアは、市民一人ひとりが健康の保持増進や生活習慣を見直し『自分の健康は自分で守る』という自助努力と意識の高揚を図ることを目的に実施。 ②年1回の開催。23年度は8回目。くらしのフェスタと同時開催。参加者数900人。22年度1,100人。 ③医師会、歯科医会、薬剤師会、市立病院等関係団体による催し、健康づくり推進員によるウォーキングの実施、食育イベント等実施。 ④23年度は6月に開設した健康サポートルーム輝（かがやき）の紹介をかねて実施。
11	①日野人げんき！応援団は市民による健康づくりの啓発活動を行う活動。公募市民および健康づくり推進員が健康課のイベント時に健診やがん検診の受診啓発チラシの配布等を行う活動。 ②23年度活動状況：10月 ピンクリボンキャンペーン及び健康フェアにて市民にがん検診の受診啓発チラシを配布した。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	4	健康フェア、応援団活動により、市民に健康づくりの啓発を実施した。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	①日常の啓発活動により市民への意識向上にとりくんでいる。 ②情報が行き渡るような対策、及び、未受診者への啓発活動を検討する。					
庁 内 評 価 会 議	評価点数	コメント				
	4	最近健康志向が高まっているので、あらゆる機会を利用し啓発を行えば、効果的な健康づくりの啓発が可能。さらに工夫して実施していくことを望む。				

平成24年度事業計画

- ①がん検診対象者への個別通知の検討と一部個別通知を実施。
- ②ピンクリボンキャンペーンの実施
- ③健康課事業、健康づくり推進員活動により日常的に健康づくりの啓発は行われているため健康フェアは一時休止。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	連絡先（内線）	7705
中目標	（5）健康づくり推進員の養成と活動を推進します	げんきプラン該当ページ 52	
事業名 （取り組み内容）	12. 健康づくり推進員の養成と健康づくり推進員活動の推進		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
12	①健康づくり推進員数47人、22年度45人より増加している。 ②市内を4つの地域に分けて、4グループによる地域での健康づくり活動、および市内全域で活動するウォーキンググループの5つのグループで活動している。 ③23年度 年間活動回数 46回、参加者数1,845人。22年度 57回、2,466人。23年度は東日本大震災による催しの自粛のため減少。 ④各グループ活動の他、健康フェアでの健康づくりふれあいウォーキングを実施し、151人参加。推進員コーナーでは247人参加があった。 ⑤市民への広報活動では、健康づくり推進員だより第8号を作成し、各自治会に回覧し活動周知を行った。

進捗状況の評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主管課	評価点数	進捗状況			
	4	健康づくり推進員の人数が若干だが増加した。各グループの活動目標に沿った活動を実施している。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
	推進員の人数を増やす。 ①活動の中で一緒に活動する人材を増やす。 ②推進員だよりを工夫し募集する。				
庁内評価会議	評価点数	コメント			
	4	今後も市民の健康増進のため、健康づくり推進委員の増加につとめ、健康づくりのための様々な取組の充実を図ることを望む。			

平成24年度事業計画

①活動の中で推進員募集の声かけをしていく。 ②推進員だよりを工夫し、推進員活動がわかりやすい内容にする。
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	連絡先（内線）	7705
中目標	（6）地域医療体制を充実します	げんきプラン該当ページ 53	
事業名 （取り組み内容）	14. 消防署、医療機関との連携による効果的・機能的な救急医療体制の充実		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
14	○救急診療 日野市立病院 花輪病院 ○休日急病診療：日曜、祝日9時から5時 市内医療機関で輪番で実施 ○休日準夜診療：土日、祝日19時30分から22時30分 保健センター分室で実施 ○平日こども応急診療：水曜 木曜 金曜 19時30分から22時30分 ○休日歯科応急診療：日用、祝日9時から5時 福祉支援センター内で実施（こども発育発達支援・再掲） ○東京都医療情報システム（ひまわり）での周知 ○日野市地域防災計画に基いた連携体制は平成17年度に構築済み。 ○新型インフルエンザ対策備蓄医療資材使用訓練に医師会・総務課・市立病院等参加し行った。日野市地域保健協議会を開催し委員に医師会長・消防署長等を招き健康増進計画について報告等を行った。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	既存の休日診療は継続実施している。新型インフルエンザ対策備蓄医療資材使用訓練を行い、災害時への対応訓練を関係機関（医師会等）と行った。また、例年開催している日野市地域保健協議会を開催し、市長を始め、医師会長、歯科医会長、消防署長、保健所長に対し健康増進計画の状況報告等を行い連携を深めた。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	25年度に改定される日野市防災計画を見据え、地域保健体制について一層の連携を深められるよう計画を作成する必要がある。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	効果的・機能的な救急医療体制の充実、市町村だけでは困難である。消防署や医師会からの情報収集や体制づくりのための定期的な会合が必要である。				

平成24年度事業計画

・日野市地域保健協議会の開催。 ・新型インフルエンザ対策備蓄資材使用訓練の開催
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	緑と清流課(16,21) 都市計画課(17,18,19) 環境保全課(20,22) ごみゼロ推進課(23)
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり		
中目標	(7) 健康を支える都市環境を整備します		
事業名 (取り組み内容)	16. 向島用水親水水路などの用水の維持管理	連絡先（内線）	3631、3111 3512、3521 7700
事業名 (取り組み内容)	17. 交通バリアフリー構想の策定		
事業名 (取り組み内容)	18. 地区計画制度による安全で快適な住まいづくり	げんきプラン該当ページ 53	
事業名 (取り組み内容)	19. 農地の保全		
事業名 (取り組み内容)	20. 市内一斉清掃による地域美化		
事業名 (取り組み内容)	21. 水とみどりの保全		
事業名 (取り組み内容)	22. 第2次環境基本計画に基づく環境行政の推進		
事業名 (取り組み内容)	23. ごみゼロ運動の推進		

事業番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
16	①日野市内の約116キロにも及び用水路の維持管理・補修を適宜推進した。 ②日野用水の開渠化及び親水広場の整備により、日野宿に水と親しむ空間・市民の交流の場を創出することができた。 ③道路整備にあわせた橋梁の架け替えや既設護岸の補修による街並みの修景と既設水路の護岸及び防護柵を整備することによる水路沿いの街並みの修景を図ることができた。
17	バリアフリー新法及び日野市ユニバーサルデザイン推進条例に基づき、「日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画」を策定しこの計画の中で「第二次日野市バリアフリー基本構想」を位置付けた。この基本構想では、JR中央線及び京王線の各駅周辺と市役所周辺の7地区を重点整備地区とし、道路・公共施設・民間福祉施設・店舗等についてバリアフリー化する内容を位置付けた。
18	①川辺堀之内地区と七生丘陵西地区に新たに地区計画を都市計画決定し、地域特性に応じた建築時のルールづくりを推進した。 ②既に地区計画が導入されている地区における建築行為等に対して、年間387件の審査事務を行った。
19	①農地4箇所、合計1,500㎡を新たに生産緑地地区に追加指定した。 ②農地の管理基準に基づき、適正な肥培管理が行われていない4箇所の生産緑地について、農業委員会と協力して営農指導を実施した。
20	①5月29日・・・春の一斉清掃を予定していたが雨天のため中止（各団体の判断で後日実施した地域があった。参加人数・団体は不明） ②11月27日・・・秋の一斉清掃実施（参加団体262団体、参加人数17,769人、可燃33,390kg、不燃2,440kg）
21	①日野緑地649.11㎡を買収したことにより、良好な環境を保全した。 ②長久保緑地1,485.19㎡を買収したことにより、良好な環境を保全した。 ③市立日野第四中学校の東南角地において、通行者等の視界を妨げているフェンスや樹木を撤去し、歩道やベンチ、低い植え込みを設け、見通しの良い施設に改善したことにより市民の安全確保と緑化を図ることができた。
22	①残された自然環境を守り育て、誰もが安らぎのある快適な暮らしができるように、4つの分野（みどり、水、ごみ、CO2）において市民・事業者・行政が連携して取り組んだ。 ②各分野とも原則1回/月、主管課との協議を重ね、環境基本計画に掲げた施策の確実な推進に向け活動した。 ③この他、計画全体の進行管理を目的に各分野の代表(市民)と主管課による推進会議を実施した。（四半期ごとに開催）
23	①平成23年度の一日一人あたりの総ごみ量が681g/人・日になり、前年度より16.4g減り、多摩地域でのごみ量が少ない方から5番目の市となった。 ②総資源化率は36.9%で前年度より0.3ポイント上昇した。 ③『容器包装お返し大作戦』の継続実施により、ペットボトルやトレー類の回収ボックスのある店頭回収に促した。 ④平成23年4月より、クリーンセンター持込ごみ手数料を25円/kg⇒42円/kgに改定した。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	16、21 日野用水及び公園等の整備により、良好な環境が形成され、個人の健康づくりや次世代へ引き継ぐための取り組みが進められている。 17 第二次日野市バリアフリー基本構想の策定 バリアフリー化する生活関連施設として87施設を位置付けた。道路特定事業（主要な経路）115路線 18 地区計画制度の導入 新規2地区（平成23年度末で37地区） 19 生産緑地の追加指定 4箇所、1,500㎡ 20 一斉清掃事業は、今後の地域の美化活動を進めるきっかけとして、また、この清掃活動を通して地域の交流を深め、地域のつながりを強めるきっかけづくりとして機能している。 22 環境基本計画に基づく活動として、各分野とも市民と行政との連携は順調である。主管課との定期的な会議が実施され、施策の進め方など具体的な協議が行われている。 23 平成23年4月からの持込ごみ手数料の改定により、持込ごみ量が前年度に比べて978t減少した。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
主管課	16	引き続き、緑地の公有地化を図っていく。				
	17	平成24年度に基本構想に基づき実施計画となる特定事業計画を策定する。この特定事業計画に位置付ける公共施設を計画どおりにバリアフリー化するための財源確保。				
	18	現在土地所有者らと協議を進めている地区において、関係権利者の合意形成を図り地区計画制度を導入する。				
主管課	19	生産緑地の追加指定を継続するとともに、関係部署と協力しながら農業者の高齢化や後継者の不足に対応した営農支援を行う。				
	20	一斉清掃を開始してから10年以上が経過し、参加団体も多く、年2回の実施についても市民の理解を得られていることから、地域美化の意識付けという目的は一定の成果を達成したと考えられる。今後は、個人・自治会等の小規模な単位での地域（ボランティア）清掃の活動を周知し、実践していける仕組みづくりが必要となる。市民が気軽に環境行政へ参加できるような場の提供				
	21	引き続き、河川、用水、湧水、公園、緑地、街路樹、緑道の適正な維持管理を推進する。				
主管課	22	①共に計画を推進していく市民の掘り起し（公民協働の推進） ②快適な生活環境を維持保全するための啓発活動など、行政からの積極的な情報発信 ③第2次環境基本計画の中間見直しに備え、これまでの活動の検証と評価。				
	23	①平成27年度目標として、一日一人あたりの総ごみ量を650g/人・日に減じる。 ②総資源化率を38%に上昇する。				
	庁内評価会議	評価点数	コメント			
庁内評価会議	4	健康を支える都市環境の整備を目指し、今後もさらなる各事業の推進を期待する。				

平成24年度事業計画

- 16、21 程久保川上流域の河川護岸改修工事
- 17 第二次日野市バリアフリー基本構想に基づく実施計画（日野市バリアフリー特定事業計画）の策定
- 18 旭が丘一丁目東地区（富士電機社宅跡地）地区計画関係権利者の合意形成（10月まで）、説明会（11月～1月）、都市計画審議会に付議（2月）
- 19 生産緑地追加募集（8月）、審査（9月）、都市計画変更（11月）、農地パトロール（12月）、適正な肥培管理が行われていない生産緑地について農業者へのヒアリング（1月）、農業者の事情に応じた指導、支援（2月）
- 20 春の一斉清掃は5月27日に実施済み（参加団体262団体、参加人数16,195人、可燃34,180kg、不燃1,690kg）
秋の一斉清掃は11月25日に実施予定。
- 22 環境基本計画に掲げた施策の進捗状況を管理するため、進行管理シーを作成する（前年実績と今年度の予定を記入）
- 23 平成25年4月より、新聞回収を2週に1回から4週に1回に減じて、「小型家電・金属類」の回収を4週に1回開始する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	健康課、高齢福祉課
大目標	3. 生きがいや心の充足の向上	連絡先（内線）	7705、2411、2421
中目標	（1）地域活動グループを支援します	げんきプラン該当ページ 54	
事業名 （取り組み内容）	24. 各種健康教育やフォローアップ事業受講者の自主グループ化の支援		
事業名 （取り組み内容）	25. 老人クラブへの助成		
事業名 （取り組み内容）	26. さわやか健康体操をきっかけとした自主的運動の支援		

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
24	乳がん自主グループ：NPOの自主グループに見学に行き、活動内容について見てきた。 パーキンソン自主グループ：自主グループ実施の実態調査を実施
25	市内の老人クラブ及び各老人クラブで組織する日野市老人クラブ連合会に対し補助金を支出することにより、各クラブの活動を支援した。今後も補助事業を継続して行く。 【補助金額】 ・各老人クラブへの補助金額の合計：18,152,640円 ・日野市老人クラブ連合会への補助金額：1,152,000円
26	① 「さわやか健康体操」延べ参加人数 平成23年度61,892人（22年度54,324人）前年度より7,568人の増加。 ② 平成23年度の登録参加者は、合計2,269人。内訳として、女性2,011人・男性258人。 男性の参加比率が著しく少ないため、男性の参加を促す周知活動の検討

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	3	24 実態状況の把握と次年度に向けた活動の方向性の確認にとどまる。 25 補助制度に変更はないが、1クラブが解散し、交付クラブ数が減となっている。 しかし、平成22年度は2クラブの増となっていたことから、この減少は一時的なものと考えている。 【交付クラブ数】52クラブ（前年度より1クラブの減） 【加入会員者数合計】4,156人（前年度より124人の減） 26 「さわやか健康体操」開催回数・平成23年度1296回。（1会場当36回×36教室）				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	24 ・乳がん自主グループについては、自治体での実施は難しいと判断。 ・パーキンソン自主グループについては、平成24年度10月に保健所主催健康課共催での難病講演会を実施。そこで、参加者へのアンケート調査実施によりニーズの把握をし、今後の方向性の検討が必要 25 他の高齢者の自主的な活動との公平性をどのように確保するのか、検討を要する。 26 「さわやか健康体操」の参加者に対して、70歳以上の市民を対象とした「悠々元気体操教室」への案内を強化し、各年代にとって「より個人に合った体操に親しんでもらう」体制づくりを確立すること。					
庁内 評価 会議	評価点数	コメント				
	3	参加者のニーズを把握し、方向性や自主活動ができるような誘導策の検討が必要。				

平成24年度事業計画

- 24 パーキンソン自主グループについては、平成24年度10月に保健所主催健康課共催で難病講演会を実施。
 25 補助制度について、引き続き同内容で実施する。
 26 従来の60歳以上であった対象年齢を65歳以上（年度内到達）として、「介護予防事業」という位置付けに変更する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	中央公民館・生涯学習課
大目標	3. 生きがいや心の充足の向上	連絡先（内線）	581-7580・5312
中目標	（2）生涯学習を推進します	げんきプラン該当ページ 54	
事業名 （取り組み内容）	27. 中央公民館高幡台分室の充実		
事業名 （取り組み内容）	28. 市民の学びの創出と支援		
事業名 （取り組み内容）	29. ひの市民大学		
事業名 （取り組み内容）	30. ひの21世紀みらい塾		

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み		
27	公民館高幡台分室の利用者が、前年度より約4千人増加し、3万人を超え、施設利用が促進された。		
28	公民館の主催事業数が昨年度同様の69件であるのに対し、年間延べ主催事業参加人数が1万9千人強と増加し、公民館でのまなびに対する市民のニーズが高い。		
29	講座実施回数が22年度40件、23年度が39件であり、参加者数が2千人余から3千5百余人と増加している。		
30	件数 ・役所の知識を活かしません科 2件（平成22年度 2件） ・あなたのお役に立ちましょう科（市職員講師編） 0件（平成22年度 0件） ・あなたのお役に立ちましょう科（市民講師編） 34件（平成22年度 90件） 延べ参加者数 ・役所の知識を活かしません科 115人（平成22年度 47人） ・あなたのお役に立ちましょう科（市職員講師編） 0人（平成22年度 0人） ・あなたのお役に立ちましょう科（市民講師編） 900人（平成22年度 1,591人）		

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	公民館主催事業全体として参加者が増加しており、特にひの市民大学では高齢のリピーターが多く、文化・芸術へのまなびを通じた生きがいづくりにつながっている。 「あなたのお役に立ちましょう科」の件数・人数が減少している（前年度比）。活用促進のため、PRを強化するなど、市民へのさらなる周知が必要。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	・ 公民館基本構想・基本計画に沿ったまなびに対する的確な講座運営・事業展開をどのように進めていくか。 ・ 地域のまなびの拠点である公民館施設を市民と共にどのように整備していくか。 ・ 実施件数及び受講者の増加のため、PRを強化していく。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	施設の利用者、事業参加者が増えているということで、生涯学習への関心が高いことがわかる。今後もニーズに応えるべく内容の工夫を望む。				

平成24年度事業計画

中央公民館基本構想・基本計画の推進のため平成23年度より中央公民館基本構想・基本計画推進会議を発足させ、事業部門と管理運営部門の両委員会をつくり様々な検討を行い、市民と共に公民館事業・活動を展開していく。

実施件数及び受講者増加のためのPR

- ①「広報ひの」に紹介記事掲載（6月、10月）
- ②講座紹介冊子の発行・配布（1,500部 6月下旬）
- ③紹介冊子の簡易版を市ホームページに掲載（6月下旬）
- ④市民の目に触れるよう、冊子の配布、ホームページの掲載等より効果的な方法について検討し、実施する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	産業振興課
大目標	3. 生きがいや心の充足の向上	連絡先（内線）	3411
中目標	（3）社会活動への参加を促進します	げんきプラン該当ページ 54	
事業名 （取り組み内容）	31. ハローワークと共同運営による職業紹介事業		
事業名 （取り組み内容）	32. 援農制度の確立や農の学校の運営		
事業名 （取り組み内容）	33. 市民農園の充実		
事業名 （取り組み内容）	34. 体験型市民農園の開設推進		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業番号	各事業の実施状況(数値で進捗状況の評価ができるものは入れてください。市民にわかりやすいように記述してください)		
31	・利用者数（平成23年度実績） 17,944人 ・就職者数（平成23年度実績） 630人 ・パートタイムセミナー参加者（平成23年度実績） 計73人（※1回あたりの定員30人）		
32	農の学校第7期生（15名）が入校。※広報等で募集（12月1日号）		
33	平成23年度は16園（917区画）で実施。		
34	平成22年度に石坂ファームハウス（21区画）とコバサン農園（30区画）の2園が新たに開園し、23年度は3園（73区画）で実施。		
34	平成23年7月に、NPO法人めぐみが「程久保めぐみ農園」（58区画）を開園した。利用者に対し、NPO法人による巡回指導を行うなどのサービスも行っている。		

進捗状況の評価（中目標に対する評価）

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度					
主 管 課	評価点数	進捗状況			
	4	《ハローワーク》・利用者数は平成21年度以降年間約18,000人の高水準を保っている。（平成23年度実績：17,944人） ・就職者数は開設以来年々増加している。（平成23年度実績：630人） ・パートタイムセミナーが好評のため、平成23年度より実施回数を2回から3回に増やして開催した。（平成23年度実績：参加者計73人 ※1回あたりの定員30人） 《農の学校》・実習26回（月2回～4回）、講座9回（月1回）※1年を通して、土作り、種蒔き、除草等の圃場管理、収穫を行う（1月～12月）・平均出席率 73%・ひのよさこい祭り、産業まつりで「農の学校」PR活動を行っている。 《市民農園》・平成23年度（平成24年度からの利用）は16農園（917区画）中、9農園（478区画）の利用者募集を行い、応募総数が1,083件（倍率は約2.3倍）であった。 《体験型市民農園》・新たに開園した2園の農業講習や交流イベント等のノウハウについて、19年度に開園した岸野農園と情報共有をしながら、円滑な実施に向けたサポートを行った。 ・NPO法人めぐみが開設した程久保市民農園の利用者募集のPRを行うなどの支援を行った。 ・農業体験農園とNPO法人開設の農園共に、利用者の心身の健康の維持増進に寄与することができた。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
	《ハローワーク》・環境の整備や積極的な周知等を通じ、更なる利用者数、就職者数の向上。・独自セミナー（パートタイムセミナー）のPRおよび参加者数の増加。 《農の学校》・農業者も高齢化しているが、ボランティアも高齢化しているので、ボランティアの確保が必要となってくる。 《市民農園》・近隣市と比較しても非常に安い使用料となっており、指定管理料や農地の信用料などは市の予算支出が多額にかかっている。また、市民農園は生産緑地ではないため、都市農業の保全を考えると市民農園から体験農園へのシフトが必要。 《体験型市民農園》・平成27年度までに1園増園し、開園数の目標を4園とする。・農家が気軽に開園・運営しやすくするためのサポート体制を、市民団体と協働で構築する。（①園主の負担軽減のため農業講習の準備等を市民が支援する ②農業者へ開園を促すためのPRなど）				
	コメント				
4	ハローワーク（高齢者の雇用促進事業）については、年々増加していることは、厳しい社会情勢を反映し、事業としては評価する。また、農の学校についても、受講生が多く、年々市民が趣味と生きがいをもって受講している。農業者が高齢になり、働き手として農のボランティアの活動に繋がっていることも評価できる。				

平成24年度事業計画（課題達成のための事業計画 箇条書き）

《ハローワーク》・求人情報端末機器の順番待ちを解消するため、端末機器を増設し、環境の整備を行う。（平成24年11月に2台増設済） 《農の学校》・企業等で退職期を迎える方などに、「農の学校」のPRを行い、受講生の確保に努めていく。 《市民農園》・平成24年度（平成25年度からの利用）は16農園中、6農園の利用者募集を行う予定。 《体験型市民農園》① 石坂ファームハウスとコバサン農園がそれぞれ2区画・6区画を増やし、市内の農業体験農園の区画数を81区画とする。 ② 日野市の市民団体である「都市農業研究会」のメンバーと共に、今後の農業体験農園のあり方について検討する。	
---	--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	高齢福祉課
大目標	4. 介護予防の推進	連絡先（内線）	2411 2421
中目標	（1）生活支援サービスを推進します	げんきプラン該当ページ 54	
事業名 （取り組み内容）	35. ホームヘルパーや介護者を対象とした介護講習会の実施		
事業名 （取り組み内容）	36. 在宅介護支援センターへの支援		
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			
事業名 （取り組み内容）			

事業番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
35	「日野市家族介護者ヘルパー受講支援助成事業」は、平成21年7月1日に廃止となりました。
36	平成21年3月をもって、8か所の在宅介護支援センターを廃止し、平成21年4月から既存の4か所の地域包括支援センターとあわせて、計9か所の地域包括支援センターに再構築しました。各地域包括支援センターに対しては、財政的支援（委託料の支出）のほか、連絡会の開催や研修情報の提供等により職員のスキルアップを図るなど、運営面での支援をしています。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主 管 課	評価点数	進捗状況				
	4	市内9か所の地域包括支援センターに対して、187,500,000円の財政支援を行ない、主任介護支援専門員、社会福祉士、看護師（又は保健師）の3職種の職員を配置することで、地域の高齢者の総合相談窓口として幅広い内容の相談に対応している。また、虐待などの困難ケースの相談にも適切に対応できるよう定期的な連絡会を開催し情報の共有に努めているとともに、各種研修への積極的な参加を促すことで職員のスキルアップを図っている。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	現状の支援水準の維持を図る。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	「日野市家族介護者ヘルパー受講支援助成事業」は、廃止となったが、介護者へのヘルパー資格取得への支援を行っている。 今後も、充実した支援サービスが行われるような環境づくりを望む。				

平成24年度事業計画

平成23年度と同水準での支援を継続する。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成23年度）
【重点以外の施策】

重点目標	3. 重点以外の取り組み	担 当 課	高齢福祉課
大目標	4. 介護予防の推進	連絡先（内線）	2434
中目標	（2）介護予防を推進します	げんきプラン該当ページ 54	
事業名 （取り組み内容）	37. 高齢者見守り支援ネットワーク事業の推進		
事業名 （取り組み内容）	38. 介護予防うつ訪問事業		
事業名 （取り組み内容）			

事業 番号	各事業の実施状況及び今後の取り組み
37	高齢者が気軽に立ち寄ることができる地域のたまり場として「ふれあいサロン」を市内5か所に開設しています。自宅に引きこもりがちな高齢者が地域コミュニティとの関わりを持ち、交流できる場を設けることで、地域での見守り体制が自然とできている状態を構築している。また、サロンでのおしゃべりや趣味の活動、健康体操などを通して、心とからだの両面から介護予防に寄与することができた。 今後も引き続き既存のサロン活動を支援していくとともに、サロンの新規開設に向けて事業PRや地域の方との情報交換を進める予定。また、見守り支援ネットワークを構築するための基礎調査である「ふれあい訪問調査」に関しても、調査結果を介護予防につなげることができる仕掛けを検討していきます。
38	23年度3月末で「はつらつチェック票」から抽出した318名把握、連絡終了。うつが疑われる方のうち6割近くが、自身の体調、配偶者などの死亡、介護などというものがあり、一時的な落ち込みであった。現在うつ状態が心配ない方に対しても、健康状態を確認し、健康相談及び、必要な情報などをお伝えすることができた。 ・うつはないが、身体機能の低下があり、介護保険の申請につないだ方26名、二次予防事業につないだ方9名と必要なサービスにつながった。 ・うつ状態の継続、不眠の改善、治療が必要な内科疾患の放置などがあり、医療機関の受診が必要な方の受診勧奨5名 ・地域包括支援センター、生活福祉課、病院など他機関と連携して事業をすすめられた。

進捗状況の評価

評価		5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成23年度						
主管課	評価点数	進捗状況				
	4	地域包括支援センター、医療機関などと連携して、心身機能の低下がある方（医療機関の受診勧奨5名 介護保険申請26名・二次予防事業9名）に対応できたり、連絡、相談、面接した高齢者には具体的な助言が直接でき、介護予防の一助になっている。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
	25年度からは「はつらつチェック票」の見直しも行い、アンケート返送者に対しては、結果返しを実施していく予定である。精神保健に対しても、一次予防も含めた啓発をしていく。					
庁内評価会議	評価点数	コメント				
	4	「はつらつチェック票」から介護による様々な心身機能低下等個々のチェック内容により、悩み・病気・心身など幅広く把握している。これにより、第二次予防対策者の把握で健康課の介護予防事業など関係課や関係医療機関と連携した対応の展開ができるので、これからも充実を図っていくことを望む。				

平成24年度事業計画

- ①「はつらつチェック票」を見直し、より健康状態を把握できる書式にする。
②リスクの高い対象者には早い段階で対応する。



資 料



「日野入げんき！」プラン 庁内評価委員名簿

		氏 名
1	男女平等課長	菅野 雅巳
2	保険年金課長	兼子 理夫
3	緑と清流課長	桃井 浩
4	都市計画課長	香川 博志
5	生活福祉課長	筒井 智子
6	保育課長	高橋 真二
7	中央公民館長	阿井 康之
8	健康福祉部長	川久保 紀子

「日野人げんき！」プラン 評価推進委員会委員名簿

		氏 名 (敬称略)
1	市民委員	小林 敏孝
2		宗 昌枝
3		北澤 孝子
4	医師会代表	塩谷 武洋
5	歯科医会代表	高品 和哉
6	薬剤師会代表	栗太 隆
7	子ども部長	大島 康二
8	健康福祉部長	小山 光雄

「日野人げんき！」プラン評価推進委員会設置要綱(平成18年1月10日制定)の全部を改正する。

(目的)

第1条 この要綱は、「日野人げんき！」プラン(以下「プラン」という。)に掲げられている施策を確実に推進し、その実効性を確保するため、プランの進捗状況を評価、検証するための体制を整備することについて、必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 プランに掲げられている重点施策(以下「重点施策」という。)及びその他の施策(以下「一般施策」という。)の進捗状況を点検し、評価等するため、次に掲げる会議を設置する。

- (1) 「日野人げんき！」プラン評価推進委員会(以下「委員会」という。)
- (2) 「日野人げんき！」プラン市内評価会議(以下「評価会議」という。)

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員(以下「委員」という。)8人以内をもって構成する。

- (1) 公募による市民の代表 3人以内
- (2) 医師会、歯科医会及び薬剤師会が推薦する者 3人以内
- (3) 日野市職員 2人以内

2 評価会議は、次に掲げる職にある者をもって構成する。

- (1) 健康福祉部長
- (2) 男女平等課長
- (3) 保険年金課長
- (4) 緑と清流課長
- (5) 都市計画課長
- (6) 生活福祉課長
- (7) 保育課長
- (8) 中央公民館長

(公募による市民の代表等の任期)

第4条 第3条第1項第1号及び第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に変更があった場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを選出する。

2 評価会議に会長、副会長を置き、会長は健康福祉部長、副会長は生活福祉課長をもって充てる。

3 会長は、委員会又は評価会議を代表し会務を総括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会又は評価会議は、それぞれの会長が招集し、会長が議長となる。

2 委員会又は評価会議は、委員の半数以上の出席がなければ開催することができない。

3 会長は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見を聴取するほか、資料の提出を求めることができる。

(評価の実施)

第7条 評価会議は、重点施策又は一般施策の担当部署に対し、進捗状況の報告を求めるものとする。

2 評価会議は、前項の規定により報告された進捗状況について評価を行い、その結果を重点施策については委員会に、一般施策については日野市長(以下「市長」という。)にそれぞれ報告しなければならない。

3 委員会は、前項の規定により評価会議から報告された重点施策の進捗状況について評価を行い、その結果を評価会議による評価と合わせて市長に対して報告するものとする。

(必要事項の検討)

第8条 委員会及び評価会議は、プランの進捗状況を評価するために必要な事項を検討することができる。

(評価結果の公表)

第9条 市長は、前条により報告を受けた重点施策及び一般施策の進捗状況の評価結果を市民に公表しなければならない。

(評価結果の活用)

第10条 施策の担当部署は、委員会又は評価会議による進捗状況の評価結果に基づき、重点施策及び一般施策の実施方法の改善に努めるものとする。

(謝礼)

第11条 委員が委員会に出席したときは、予算の範囲内で謝礼金を支払う。ただし、日野市の職員には支給しない。

(事務局)

第12条 委員会及び評価会議の事務局は、健康福祉部健康課に置く。

(その他)

第13条 この要綱に定めるもののほか、評価に必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成24年10月25日から施行し、改正後の「日野人げんき!」プラン評価実施要綱は、平成24年7月1日から適用する。